

日本育種学会 第107、108回講演会プログラム

2005年春季・秋季 筑波大学

大会本部(総合研究A棟、Tel: 029-853-7514 期間中のみ)

8月19日	午後	幹事会 14:00-18:00 (総合研究棟A棟111)
-------	----	------------------------------

		第1会場 第2学群棟 2H101	第2会場 第2学群棟 2H102	第3会場 第2学群棟 2B411	第4会場 第2学群棟 2B406	第5会場 第2学群棟 2B412	第6会場 第2学群棟 2B409	第7会場 第2学群棟 2B507	第8会場 第2学群棟 2B508	第9会場 第2学群棟 2C101	第10会場 第2学群棟 2C102
8月20日	午前	シンポジウム 8:40~11:00									
		ポスター発表(奇数番号) 11:00~12:00(生物農林学系A棟)									
	午後	総会・受賞講演 14:00~17:00(第2学群棟2H101)									
		懇親会 17:30~19:30(第2学群食堂)									

		遺伝子 タンパク質	ゲノム情報	ゲノム情報	発育生理	品種育成	抵抗性 品質成分	変異解析	遺伝資源 系統分化	変異創成	変異創成
8月21日	午前	101-110	201-210	301-310	401-410	501-510	601-610	701-710	801-810	901-910	1004-1010
		8:30-11:00	8:30-11:00	8:30-11:00	8:30-11:00	8:30-11:00	8:30-11:00	8:30-11:00	8:30-11:00	8:30-11:00	9:15-11:00
	ポスター発表(偶数番号) 生物農林学系A棟 11:00~12:00										
	午後	111-128	ゲノム情報 遺伝子 タンパク質	ゲノム情報	発育生理 増殖	品種育成 発育生理 育種情報	抵抗性 品質成分	変異解析 抵抗性 品質成分	遺伝資源 系統分化	変異創成	変異創成 遺伝資源 系統分化
13:00-17:30		211-229	311-329	411-428	511-529	611-628	711-728	811-828	911-928	1011-1025	
グループ研究集会 18:00~20:00 (IVのみ17:30~19:30)											

8月22日	午前	<p>市民公開シンポジウム 10:00~12:00 エポカルつくば(つくば国際会議場)</p> <p>日本の食料保障ーグローバルライゼーションと品種改良ー</p> <p>代表責任者: 藤村達人(筑波大・遺伝子実験センター長)</p> <p>「俯瞰概論と問題提示」 Hamid A. Zakri(国連大学高等研究所所長)</p> <p>「今後の食糧供給における育種の役割」 藤村達人(筑波大学・遺伝子実験センター長)</p> <p>「品種改良技術の過去・現在・未来」 喜多村啓介(北海道大院農学、日本育種学会長)</p> <p>「品種の成果」 河瀬真琴((独)農業生物資源研究所ジーンバンクチーム長)</p>
-------	----	---

8月19日	
14:00 ↓ 18:00	幹事会 (総合研究棟A棟111)

1日目(8月20日)午前					
8月20日	第1会場(2H101番教室)	第2会場(2H102番教室)	第3会場(2B411番教室)	第4会場(2B406番教室)	第5会場(2B412番教室)
8:40	<p>シンポジウムI</p> <p>ダイズにおけるゲノム・リソース研究の現状と進展 -モデル植物ミヤコグサをどのように利用するか-</p> <p>責任代表者: 平田 豊(東京農工大・国際)</p> <ol style="list-style-type: none"> ダイズ完全長cDNAの収集と環境ストレス応答研究への展開 篠崎和子(東京大学大学院農学生命科学研究科/国際農林水産業研究センター) ゲノム情報を利用したダイズの育種 石本政男(北海道農業研究センター) ミヤコグサゲノムリソースの現状 佐藤修正(かずさDNA研究所) ダイズ、ミヤコグサゲノムのマクロシテニーの解析と遺伝子単離 原田久也(千葉大学園芸学部) 	<p>シンポジウムII</p> <p>ナス科ゲノム国際共同研究への参画と情報の活用</p> <p>責任代表者: 江面 浩(筑波大学大学院、生命環境科学研究科)</p> <ol style="list-style-type: none"> ナス科ゲノム国際共同研究の現状と将来 James J. Giovannoni, (ポイストン プソン植物研究所/コーネル大学) 日本の取組み1-トマトDNAアレイ作製と完全長cDNA解読WEB 柴田大輔(かずさDNA研究所) 日本の取組み2-トマトゲノム解読 田畑哲之(かずさDNA研究所) 日本の取組み3-変異体系統の作成と実際 江面浩(筑波大学) 日本の取組み4-DNAアレイを利用した研究の実際 溝口剛(筑波大学) 	<p>シンポジウムIII</p> <p>採種形質の育種学</p> <p>責任代表者: 松浦誠司(株)トホク 育種部)</p> <ol style="list-style-type: none"> アブラナ科野菜F1採種における自家不和合性程度の育種 新倉 聡(株)トホク) アブラナ科作物の雄性不稔性育種と特許化の現状 酒井隆子(協和種苗株) パネルディスカッション: 育種学に期待される今後の採種形質研究 コーディネーター: 小島昭夫(野菜茶業研究所) <p>パネリスト</p> <p>角田 勉(カネコ種苗株) キャベツ類の自家不和合性の評価と選抜</p> <p>赤松豊和(勝サカタのタネ) キャベツ類の雄性不稔性育種の問題点</p> <p>星野 博(タキイ種苗株) ハクサイ類の花粉活力と自家不和合性</p> <p>高橋 尚(株)渡辺採種場) ハクサイ類の花色素と訪花昆虫</p> <p>コメンテーター 日向康吉(東北大学名誉教授)</p>		<p>シンポジウムIV</p> <p>遺伝子組換え作物の花粉飛散と交雑 ~これまでの研究事例と今後の研究方向~</p> <p>責任代表者: 松尾 和人(農業環境技術研究所 生物環境安全部 組換え体チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> 趣旨説明 松尾和人(農業環境技術研究所) 国内水稲品種の自然交雑率 矢頭 治(北陸研究センター) 大豆における自然交雑の可能性 羽鹿牧太(作物研究所・豆類育種研究室) トウモロコシの花粉飛散と交雑 黄川田 智洋(畜産草地研究所・ヘテロシス研究室) 牧草類の花粉飛散と交雑 高溝 正(畜産草地研究所・育種工学研究室) セイヨウナタネの花粉飛散と自然交雑 松尾和人(農業環境技術研究所・組換え体チーム) 総合討議 座長: 岡 三徳(農業環境技術研究所・生物環境安全部) コメンテーター: 森島啓子(国立遺伝学研究所名誉教授)
11:00	ポスター発表(奇数番号) 生物農林学系A棟 11:00~12:00				

1日目(8月20日)午後	
14:00	<p style="text-align: center;">総会・受賞講演 (第2学群棟2H101)</p> <p>学会賞 ★佐野芳雄(北海道大学大学院農学研究科)「栽培イネおよび近縁野生種における生殖隔離と適応的分化の研究」</p> <p>★宮崎島水稻育種グループ(代表者: 小八重雅裕)「九州における良食味品種「ヒノヒカリ」, 「ほほえみ」, 「かりの舞」, 「あきげしき」の育成」</p> <p>奨励賞 ★片山健二(農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター)「サツマイモにおけるデンブ特性の変異に関する育種学的研究」</p> <p>★田中淳一(独立行政法人農業技術研究機構野菜茶業研究所)「DNAマーカーのチャ育種への利用に関する研究」</p>
17:30	懇親会(第2学群食堂)

幹事会（総合研究棟A棟111）	8月19日 14:00 ↓ 18:00
-----------------	------------------------------

1日目(8月20日)午前					
第6会場(2B409番教室)	第7会場(2B507番教室)	第8会場(2B508番教室)	第9会場(2C101番教室)	第10会場(2C102番教室)	8月20日
	シンポジウムV 食料安全保障と育種戦略 ー乾燥ストレスに強いイネを めざしてー 責任代表者: 宇賀優作(農業生物 資源研究所ジーンバンク植物資源 研究チーム)	シンポジウムVI チャ育種・遺伝資源研究の 新展開 責任代表者: 山口 聡(愛媛大学農 学部野菜花卉研究室)	シンポジウムVII 新局面を迎えた遺伝資源海外 学術調査の現状と課題 責任代表者: 大田正次(福井県立 大学生物資源学部)	シンポジウムVIII 判別システムをベースとした イネいもち病抵抗性研究 責任代表者: 福田善通(国際農林 水産業研究センター生物資源部)	8:40
	1 はじめに「乾燥耐性イネの育種の 現状等について」 宇賀優作(農業生物資源研究所)	1 チャ遺伝資源研究100年の成果 武田善行(野菜茶業研究所)	1 西南アジアにおけるムギ類遺伝 資源調査の現状 大田正次(福井県立大学)	1 はじめに 福田善通(国際農林水産業研究 センター)	
	2 東北タイ天水田における水稻の生 産阻害要因とその地形連鎖変異 本間香貴(京都大学大学院農学 研究科)	2 チャの系統分類 山口聡(愛媛大学農学部)	2 南・東アジアにおけるムギ類多様 性へのアプローチ 佐藤和広(岡山大学資生研)	2 新国際標準イネいもち病抵抗性判 別品種の開発 小林伸哉(国際イネ研究所)	
	3 旱魃タイプとイネの耐乾性形質の 活用 鴨下顕彦(東京大学大学院農学 生命科学研究科)	3 Pal遺伝子の多型から見た日本緑 茶の起源 松元哲(野菜茶業研究所)	3 ミャンマーにおける野生イネの調 査 石井尊生(神戸大学)	3 日本とフィリピン(IRRI)のイネい もち病菌レース判別システムの比較 と問題点 林 長生(農業生物資源研究所)	
	4 総合討論 座長: 岩田洋佳(中央農業総合研 究センター農業情報研究部)	4 チャの有形形質に関するMAS育 種の現状 谷口郁也(野菜茶業研究所)	4 総合討論: 遺伝資源海外学術調 査の課題と展望 コメンテーター 河瀬真琴(農生資源研)	4 マルチライン研究におけるイネい もち病菌レース判別システムの利 用 小泉信三(中央農業研究セン ター)	
		5 チャにおけるDNAマーカー選抜の 将来展望 田中淳一(野菜茶業研究所)		5 イネいもち病抵抗性遺伝子同定・ 利用に向けた研究方向 安東郁男(作物研究所)	
		6 質疑		6 総合討論 座長: 井辺時雄(作物研究所)	
ポスター発表(奇数番号) 生物農林学系A棟 11:00~12:00					11:00

1日目(8月20日)午後	
総会・受賞講演(第2学群棟2H101)	14:00
<p>学会賞 ★佐野芳雄(北海道大学大学院農学研究科)「栽培イネおよび近縁野生種における生殖隔離と適応的分化の研究」</p> <p>★宮崎県水稲育種グループ(代表者: 小八重雅裕)「九州における良食味品種「ヒノヒカリ」, 「ほほえみ」, 「かりの舞」, 「あきげしき」の育成」</p> <p>奨励賞 ★片山健二(農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター)「サツマイモにおけるデンプン特性の変異に関する育種学的研究」</p> <p>★田中淳一(独立行政法人農業技術研究機構野菜茶業研究所)「DNAマーカーのチャ育種への利用に関する研究」</p>	
懇親会(第2学群食堂)	17:30

2日目(8月21日)午前

8月21日	第1会場(2H101番教室)	第2会場(2H102番教室)	第3会場(2B411番教室)	第4会場(2B406番教室)	第5会場(2B412番教室)
8:30	<p>◆座長 朝倉史明(神奈川大工)</p> <p>101 ○血池辰徳・山本優子・萩田浩子・村井耕二(福井県大生物資源) Pistilody(雄ずいの雌ずい化)を誘発する細胞質置換コムギ系統の幼穂で特異的に発現するプロテインキナーゼ遺伝子の同定</p>	<p>◆座長 半田裕一(生物研)</p> <p>201 ○南角奈美1,2・植木英雄1,2・元井由加1,2・佐藤和広1・武田和義1(1.岡大資生研, 2.CREST) オオムギ高密度転写産物地図の構築</p>	<p>◆座長 近江戸伸子(神戸大総人)</p> <p>301 ○荒井三千代1・林正紀1・濱田亜紀子1・渡辺史1,2・赤尾勝一郎3・原田久也1(1.千葉大院自然科学, 2.国際農研, 3.宮崎大農) ダイズ根粒非着生変異遺伝子のマッピング</p>	<p>◆座長 畠山勝徳(野菜茶研)</p> <p>401 ○近藤正哉・山元皓二・高原美規(長岡技術科学大学大学院工学) 高濃度スクロース処理によるニンジン不定胚形成への光質が及ぼす影響</p>	<p>◆座長 森一幸(長崎総農試)</p> <p>501 ○重宗明子1・三浦清之1・上原泰樹2・小林陽3・菅原英樹1・後藤明俊1・太田久穂2・清水博之4・福井清美5・小牧有三5・大槻寛1(1.中央農研・北陸せ, 2.作物研, 3.茨城県土浦市在住, 4.北農研, 5.鹿児島農試) 稲発芽餌料用新品種「夢おおば」の育成</p>
8:45	<p>102 ○小林史典・前田絵梨・中村千春・宅見薫雄(神戸大農)</p> <p>パンコムギの低温とABAで誘導されるbZIP型転写因子をコードするWabi5とWlip19 cDNAの単離</p>	<p>202 ○Chatieng, B., N. Tomooka, A. Kaga, D. A. Vaughan, Y. Kuroda, P. L. Sanchez, T. Isemura (NIAS) Development of a black gram (Vigna mungo) genome map</p>	<p>302 ○高橋秀和1,2・赤木宏守1・森宏一1・武田和義3・佐藤和広3(1.秋田県大生物資源, 2.CREST, 3.岡大資生研) MITE-AFLP法によるオオムギのゲノムマッピング</p>	<p>402 ○津和本亮1・福岡浩之2・高畑義人1(1.若手大農, 2.野茶研) 膜貫通型レセプターキナーゼ遺伝子GASSHO1.2はシロイヌナズナ胚の表層形成に関与する</p>	<p>502 ○稲葉正和1・Darryl Macer1,2・渡邊和男1(1.筑波大院生命環境, 2. RUSHAP, UNESCO) 日本における遺伝子組換え作物の社会受容の俯瞰</p>
9:00	<p>103 ○秋田祐介1・千田峰生2・石川隆二1・原田竹雄1・新関隼1・赤田辰治2(1.弘大農学生命, 2.弘大遺伝子) ダイズにおけるWUSCHEL様遺伝子の構造解析と機能の推定</p>	<p>203 ○水野浩志1・呉健忠1・金森裕之2・藤澤雅樹2・並木信和2・佐治章子2・片桐敏2・片寄裕一1・松本隆1・佐々木卓治1(1.生物研, 2.STAFF) イネ日本晴のテロム長測定とテロメア周辺配列の解析</p>	<p>303 ○高田吉文1・塚本知玄2・菊池彰夫3・境哲文4・加藤信1・河野雄飛1・湯本節三1(1.東北農研, 2.若手大農, 3.近中四農研, 4.九州沖縄農研) ダイズの胚軸中サポニンタイプに関与する遺伝子のマッピング</p>	<p>403 ○伊藤純一1・林克信2・声苺基行3・松岡信3・長戸康郎1・佐藤豊2(1.東大院・農学生命科学, 2.名大院・生命農学, 3.名大・生物機能開発) イネのシュート形成に関する遺伝子の発現パターン</p>	<p>503 ○富田桂1・堀内久満1・寺田和弘1・田中勲2・小林麻子1・見延敏幸3・田野井良1・篠山治恵1・古田秀雄4・山本明志4・池田郁美3(1.福井農試, 2.福井農林総合事務所, 3.福井県動物振興局, 4.福井県庁) 極良味の水稲新品種「イクヒカリ」の育成</p>
9:15	<p>104 ○小西左江子1・林少揚1・江花薫子2・福田善通3・井澤毅2・佐々木卓治2・矢野昌治2(1.農林水産先端研, 2.生物研, 3.IRCAS) イネ脱粒性遺伝子qSH-1の単離</p>	<p>204 ○堀清純・佐藤和広・武田和義(岡大資生研) オオムギ休眠性QTLの単離に向けた連鎖連鎖マーカーの検出</p>	<p>304 ○諏訪部圭太1・トミフアベンスノリオ2・福岡浩之2・鈴木剛3・向井康己3・松元哲2(1.三重大生資, 2.野茶研, 3.大阪教育大) ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座Crr1の遺伝的詳細化と物理地図を用いたシロイヌナズナとのシンテニー解析</p>	<p>404 ○山崎彩香・栗原誠・江頭宏昌(山形大農) 加熱処理が温海カブ種子の休眠打破に及ぼす効果</p>	<p>504 ○関口文彦1・本宮玲子1・川人尚美2・茅野秀則2(1.日女大理, 2. 竹中技術研) 緑地景観植物としての利用を目指すハルガヤの系統選抜</p>
9:30	<p>105 ○菅野善明1・緒方潤1,2・伊藤佳央3・武田友美1・津川秀久4・鈴木正彦1(1.青森グリーンバイオ, 2.学振, 3.農工大, 4.青森農林総合研) バラの新規なアントシアニン配糖体化反応と糖転移酵素遺伝子</p>	<p>205 ○吹野伸子・國久美由紀・松元哲(野菜茶研) メロン'PMAR No.5'に由来するうどんこ病抵抗性のQTL解析</p>	<p>305 講演取消</p>	<p>405 ○村井耕二(福井県大生物資源) 平成16年7月福井県雨における水稲被害・イネの生種成長へ及ぼす土砂埋没の影響</p>	<p>505 三上晃一郎・安田慎一・五十嵐敏・在原章公・北智幸・後藤正宣・児玉幹司・河野ひか・田畑紀保子(ホクレン農試) ばれいしよサラダ加工品種「ひかる」の開発</p>
9:45	<p>◆座長 山田哲也(北大院農)</p> <p>106 ○朝倉史明1・吉田晋弥2・森直樹3・大塚一郎1・中村千春3(1.神奈川大工, 2.兵庫県立農林水産技術総合センター, 3.神戸大農) コムギにおけるMutator様転移酵素配列の同定とイネ科植物内での分布</p>	<p>◆座長 奥本裕(京大院農)</p> <p>206 ○半田裕一1・柴田未知恵2・並木信和2・金森裕之2・許東河3・坂智広3(1.生物研, 2.STAFF研, 3.国際農研) 比較ゲノム手法を用いたコムギ2D染色体短断上の赤かび病抵抗性QTLのマッピング</p>	<p>◆座長 福岡浩之(野菜茶研)</p> <p>306 ○濱田亜紀子1・高松光夫2・山田直弘3・矢野崎和弘3・原田久也1(1.千葉大院自然科学, 2.長野県農試, 3.長野県中農試) ダイズモザイクウイルス抵抗性遺伝子周辺の詳細マッピング</p>	<p>◆座長 江頭宏昌(山形大農)</p> <p>406 ○小野寺康之・赤坂直紀・与那朝至・三上哲夫(北海道大) ホウレンソウの性決定機構解明に向けた試み</p>	<p>◆座長 北浦健生(神奈川農技)</p> <p>506 ○羽根悠太1・渡辺啓史2・原田久也2・高橋浩司1・平賀勲1(1.作物研, 2.千葉大) ダイズの青立ち発生に関与する遺伝的要素の解析</p>
10:00	<p>107 ○Kim Sun-Hyung・大谷恭泰・濱田達朗・島田多喜子(石川県立大学) サツマイモからのイソアミラーゼ遺伝子の単離およびその発現段階における発現</p>	<p>207 ○花田裕美1・林 恭平1・山本俊哉2・根来圭一1(1.財)わかやま産業振興財団, 2.農研機構果樹研) ウメ'二青梅'×'南高梅'F1集団におけるDNAマーカー連鎖関係の解明</p>	<p>307 石丸彰子1・○片岡達平1・田畑哲之2・佐藤隆正2・福井希一3・近江戸伸子1(1.神戸大院総合人間, 2.かざさDNA研, 3.京大院工学) マメ科植物ミヤコガサの定量的染色体地図と連鎖地図の統合</p>	<p>407 ○畠山勝徳1・草場信2・吉秋斎1・佐藤隆徳1・石田正彦1(1.野茶研, 2.東大農学生命科学) サブトラクション法によるBrassica oleraceaの柱頭で特異的に発現する遺伝子の単離</p>	<p>507 ○森一幸1・相野孝孝2・中尾敏3・佐山亮1(1.長崎総合農林試験場, 2.兵庫県立農林水産技術総合センター, 3.島原農業改良普及センター) シードリングバイオアッセイチャンバ法を用いたジャガイモ根こぶ病抵抗性個体の選抜法</p>
10:15	<p>108 ○鷹野典子1・久保貴彦1,2・土井一行1・吉村淳1(1.九大院農, 2.現産研究所) イネの長粒遺伝子lk3の単離</p>	<p>208 金原重樹1・高木千明2・藤岡隆司2・穴戸理恵子1・○野村和成1・池橋 宏1(1.日本大生物資源, 2.(株)みかど育種農場)ダイコンの低温発芽性のQTL解析</p>	<p>308 ○川崎信二1, 森 隆1, 相井城太郎1, 藤 恵嗣1, 宮本勝2, 平澤秀雄2(1.生物研, 2.茨城生工研) 陸稲品種高平の主要な圃場抵抗性遺伝子 P136(t)の組換え近交系統残ヘテロ領域を用いた精密マッピング</p>	<p>408 ○Gulyas G.1, H.T. Kim2, J.S. Lee3, K. Pakozdi4 and 平田 豊1(1.東京農工大学大学院農学教育部, 2.東京農工大学大学院連合農学研究所, 3. Dong Won Nong San Seed Co. 4. New Mexico State Uni.) トウガラシにおけるCMSおよびその回復の分析</p>	<p>508 ○河野雄飛・高田吉文・加藤信・湯本節三(東北農研) 近赤外分光分析法による豆腐破断強度の選抜</p>
10:30	<p>109 パウリノ ラウデ サンチェス・○土井一行・宇山和宏・永井麻子・吉村淳(九大院農) イネ脱粒性遺伝子Sh3の単離</p>	<p>209 ○尾崎祐朗1・北野英己2・犬飼義明1(1.名大院生命農, 2.名大生物機能開発) イネの根端分裂組織の維持に関わるRRL2遺伝子のマッピング</p>	<p>309 ○オ宏信・湯山奈々・井上真以子・高橋直・平田球子・佐々木亨(飼料作物研) シバにおけるSSRマーカーの作出</p>	<p>409 ○風間智彦・鳥山欽也(東北大院農) イネ稔性回復遺伝子によるミコンドリアatp6の転写後制御の解析</p>	<p>509 ○美濃部信三1・王子軒2・門奈理佐1(1.株式会社植物ゲノムセンター, 2.株式会社植物DNA機能研究所) SNPsマーカーを用いた効率的なゲノム育種法の開発</p>
10:45	<p>110 ○西澤順子・山岸博・寺地徹(京産大工) ダイコンのファイトレメディエーション関連遺伝子の単離.GISH1及びGS遺伝子</p>	<p>210 ○齋藤誠1・久保中央1・松元哲2・諏訪部圭太2・塚元元尚3・平井正志1(1.京都府大院農, 2.農研機構野菜茶研, 3.長野野菜花き試) ハクサイ(Brassica rapa)の根こぶ病抵抗性遺伝子座(Crr3)付近の詳細マッピング</p>	<p>310 ○大林恵吾1・小村国則1・百田洋二2・向島信洋1・茶谷正孝1(1.長崎総合農林試, 2.中央農研) ジャガイモシストセンチュウ抵抗性遺伝子(H1)に連鎖する新たなDNAマーカーの開発</p>	<p>410 ○松平洋明・原田倫生・久保友彦・三上哲夫(北大院農) テンサイの花粉粘性回復遺伝子Rf1座に見られる系統間構造多型</p>	<p>510 ○北澤則之1・岡洋一2・前原有美子1・王子軒1・美濃部信三2(1.株式会社植物DNA機能研究所, 2.株式会社植物ゲノムセンター) 北海道型コンヒカリの開発 1.出穂期を改変したコンヒカリ率同質系統の作出</p>

2日目(8月21日)午前					
第6会場(2B409番教室)	第7会場(2B507番教室)	第8会場(2B508番教室)	第9会場(2C101番教室)	第10会場(2C102番教室)	8月21日
◆座長 青山聡(道立十勝農試) 601 ○三十尾修司1・松本 学1・ Muhammad A. Javed2・石井尊 生1・上島情志1(1.神戸大農、2.神 戸大自然科学) 耐塩性および非耐塩性イネ間の F1雑種の耐塩性における培地中 NaCl濃度の影響	◆座長 坂本知昭(東大農学生命) 701 ○Kim, H.T.1・D.I. Kim2・J.H. Hwang2・大田雄三1・平田豊 1.S. Noud3(1.農工大・院・連大・植 物遺伝育種、2. Natl. Hort. Res. Inst. RDA, 3. Fac. Plant Sci. and Prod. Suncheon U.) PCR法による韓国リンゴ品種の自 家不和合性遺伝子型の同定	◆座長 新田みゆき(生物研) 801 ○寺沢洋平 笹沼恒男 笹隈哲夫 (横浜市大院総合理学) アフリカ産のコムギ在来品種 の遺伝的多様性 III.HMWグルテ ニンの多型	◆座長 大谷基康(石川県大) 901 ○児玉悠介・高畑義人(岩手大 農) Brassica napusとB. campestris、 B. oleracea間の種間交雑におけ る交雑和合性および交雑障壁の 組織学的観察		8:30
602 小森俊之1,2・今関英雅2(1.JT植 物イノベーションセンター、2.オリノ バ) 複数座にRf-1を配置することによ るハイブリッドイネの耐冷性の向上	702 ○服部玄1・太田雄三1・平田豊 2(1.農工大・院・連大・植物遺伝育 種 2.農工大・院・国際環境農学・ 植物遺伝育種) ダイコンと赤キャベツの属間細胞 融合由来CMS系統の葉緑体ゲノ ム解析	802 ○江頭宏昌・山崎彩香・栗原誠・ 赤澤経也(山形大農) 山形県産の在来カブの種類と分布	902 ○仙波佐智子1・久戸瀬哲2・平田 豊1(1.農工大、2.(株)サカタのタ ネ) 有用花卉形質を持つキメラ植物の 合成		8:45
603 ○後藤文之1・小林雅彦1,2・島田 浩章2・吉原利一1(1.電力中央 研・環境科学、2.東京理科大・基 礎工) モモ葉における銅処理による病斑 形成とプログラム細胞死の関連性	703 ○五十里千尋1・漆川直希1・嶋田 早苗1・阿部知子2・阪本浩一2・齋 藤宏之2・村井耕二1(1.福井県大 生物資源、2. 理研植物機能) 生殖成長へ移行しない一粒系コム ギ突然変異体 maintained vegetative phase の原因遺伝子 はコムギAPETALA1である	803 ○富吉 満之・大西 近江(京大院 農) 怒江流域における栽培ソバと野生 ソバの分布	903 ○藤裕1・川上颯2・吉田みどり 1(1.北海道農研、2.中央農研) コムギのフルクタン合成酵素遺伝 子を導入したイネの穂ばらみ期耐 冷性		9:00
604 ○猿田正恭・菊池彰夫・岡部昭典 (近中四農研) ダイズの褐斑及び種子伝染抵抗 性の品種間差異	704 ○百瀬真幸(キンビール植物研) パレイシオの可動なトランスポソ ン	804 ○大田正次1・Hakan Ozkan2・森 直樹3(1.福井県大生物資源、2.トル コ・チュコクロバ大農、3. 神戸大 農) コムギ近縁野生種Aegilops neglectaとAe. columnarisのトル コ南部における地理的分布	904 ○高橋咲子1・荻山友貴2・島田浩 章3・川向誠2・門脇光一1(1.生物 研、2. 島根大・生命工、3. 東京理 大・生物工、) 第1世代CoQ10強 化米の開発	◆座長 加藤謙司(岡山大農) 1004 Kyaw Swe Linn1 and Y. Hirata2 (1.Lab.Plant Genet. & Breed. Grad. Sch. IEAS.TUAT, 2. Lab. Plant Genet.& Breed.TUAT) Protein subunit variation of Azuki bean, Mung bean, Cowpea and their related wild species	9:15
605 ○須藤文博・笹沼恒男・笹隈哲夫 (横浜市大院総合理学) コムギにおけるA/Dゲノム特異的 塩反応性遺伝子	705 ○齋藤美香1,2・石川吾郎1・中村 俊樹1(1.東北農研セ、2. 日本製 粉株式会社) コムギにおける胚乳型β-アミラー ゼ遺伝子の特徴	805 ○Duncan A. Vaughan, A. Kaga, N. Tomooka, Y. Kuroda, P. L. Sanchez, T. Isemura, B. Chaitieng (NIAS) Diversity of the genus Oryza in Papua New Guinea and its significance	905 ○宮沢 裕章1・椎口勝弘1・鈴木克 彰1・平田豊1(1.農工大・院・国際 環境農学・植物遺伝育種) Capsicum baccatumとC. annuum L.との種間接合体の 解析	1005 1○御郷1・山根京子1,2・大西近 江1(1.京大院農、2. 阪府大院生命 環境) 葉緑体ゲノムの変異からみたダイ コンの起原と伝播	9:30
◆座長 笹沼恒男(横浜大木原研) 606 ○北川悦子1・佐藤友博1・ Shohab Youssefian2・草野友延 3(1.秋田農試、2.秋田県立大3.東 北大) カドミウム吸収能の異なるイネ品 種間の根から茎葉部へのカドミ ウム移行性の差異	◆座長 矢野昌裕(生物研) 706 ○高岸禮逸朗1・村井正之2(1.北 大院農、2.高知大農) イネ小穂の形態形成に関わる突然 変異遺伝子の相互作用 -dn3(秋 晴密穂)とlms(葉化穎不稔)-	◆座長 武田真(香川大農) 806 ○秋本正博1・穴戸理恵子2・石井 尊生3・石川隆二4・上笠喜八5・中 村郁郎6・佐藤洋一郎7・佐藤雅志 8(1.帯畜大、2. 日大生物資源、3. 神戸大農、4.弘前大農生、5. 東農 大生物産業、6. 千葉大自然科学、 7. 総合地球環境学研究所、8. 東北 大院生命科学) 野生イネ遺伝資源のオンファーム 保存システム構築のための実証 的調査 I. ミヤンマーにおける事例	◆座長 福岡修一(生物研) 906 ○大谷基康・濱田達朗・Kim Sun- Hyung・島田多喜子(石川県立大) サツマイモSBEII遺伝子のRNA干 渉によるアミロース含量の向上	1006 ○山岸 博・川口晋吾・石橋篤志 (京都産大工) Brassica属作物における葉緑体の trnF/ndhJ遺伝子間領域の塩基 配列に関する種間・種内変異	9:45
607 ○青山聡1・黒澤聡2・小嶋道之2・ 島田尚典1(1.道立十勝農試、2.帯 広畜大) アズキにおける出芽直後の耐冷性 とクロフィル合成の発現調節と の関係	707 ○浅野賢治1・高師知紀2・三浦孝 太郎1・芦刈基行3・北野英巳3・松 岡信3(1.名大院生命科学2.ホンダ リサーチインスティテュート・ジャ パン3.名大生物機能開発) 半矮性遺伝子sd1アレルはイネ半 矮性品種作出に幅広く用いられた	807 ○新田みゆき1・長峰司1, 2・白田 和人1(1.生物研、2. 現近中四農 研) 四国山地で特異に見出された硬 実エゴマ	907 ○寺田理枝・長原美樹・古川和 彦・齊藤(花岡)美保・飯田滋(基生 研) Cre/loxP部位特異的組換えを用 いたイネのWaxyターゲット領域の 改変	1007 ○黒田洋輔・加賀秋人・友岡憲 彦・Duncan A. Vaughan・伊勢村 武久・Paulino L. Sanchez・ Bubba Chaitieng (生物研) SSR多型からみた日本における野 生ダイズ(Glycine soja)の集団遺 伝構造	10:00
608 ○松元哲1・藤村みゆき1・諏訪部 圭太2・トミクアベンスリオ1・國 久美由紀1・吹野伸子1(1.野茶研、 2.三重大生資) DNAマーカーによる戻し交雑集団 からのハクサイ根こぶ病抵抗性個 体の選抜	708 ○今村清平1・佐藤隆志2・今井華 子1・松岡信2・北野英巳2(1.名大 院生命科学、2. 名大生物機能開 発利用研究センター) イネ根様胚状突然変異体の発生 遺伝学的解析	808 ○武藤千秋1・川野和昭2・谷坂隆 俊3・佐藤洋一郎4(1.岐阜連合 農、2.鹿児島黎明館、3.京大、4.地球 研) ラオス中部モトイネ在来品種の Waxy座における多型解析	908 ○千葉典子1・太田雄三2・服部玄 2・平田豊1(1.東京農工大・国際 環境農学、2. 東京農工大・連大) アブラナ科種間キメラ由来する CMS関連遺伝子の構造と分布	◆座長 石川隆二(弘大農学生命) 1008 ○Sanchez, P. L., D. A. Vaughan, Y. Kuroda, B. Chaitieng, N. Tomooka, A. Kaga, T. Isemura Genetic and morphological analysis of Oryza eichingeri from Asia and Africa	10:15
609 ○平林秀介1・佐藤宏之1・加藤浩 1・安東都男1・井辺時雄1・小川紹 文2 イネ近縁野生種Oryza rufipogon (IRGC-Acc104814)のいもち病菌 場抵抗性遺伝子のマッピング	709 ○田中紀史1・新倉聡1・武田和義 2(1.藤1-ホク、2. 岡山大学学生 研) キャベツの結球性に関する遺伝分 析、IX.キャベツ×ハボタンならびに キャベツ×ケールのF2集団におけ る結球性と球形の解析	809 小松田隆夫・Y. Turuspekov・D. Vidya-Saraswathi・P. Azhaguvel(生物研)北アフリカの オムギの形態および分子マー カー解析	909 三柴啓一郎1・西原昌宏2・中塚貴 司2・阿部善子2・平野啓2・菊池亮 子2・山村三郎2(1.大阪府大院生 命環境、2.(財)岩手生物工学研究 センター) 形質転換リンドウの35Sプロモ ーター特異的なDNAメチル化	1009 ○田中克典1・明石由香利1,2・吉 野照道1・西田英隆1・加藤謙司 1(1.岡山農大、2.(株)三共種子) 葉緑体ゲノムの塩基配列多型が 示すCucumis属の類縁関係	10:30
610 ○竹内一成・福山利範(新潟大農) 北陸・東北地域におけるオオムギ 雲形病菌の病原性変異とその階 層的構成	710 ○加藤謙司1・吉田哲也1・谷尾昌 彦2・藤田雅也3・西田英隆1・明石 由香利1・吉野照道1(1.岡山大学 農、2. 国際農林水産業研究セン ター、3. 作物研究所) コムギ品種の早生化に貢献した日 長反応性遺伝子Ppd-1の解析	810 ○橋口正嗣1・権藤崇裕2・渡邊加 奈1・霍田真一1・磯部祥子2・奥村 健治2・明石良1(1.宮崎大農、2. 北農研) Lotus属の遺伝資源解析 —ミヤコソ国内野生系統におけ る形態的特徴について—	910 ○中塚貴司1・西原昌宏1・三柴啓 一郎2・阿部善子1・菊池亮子1・山 村三郎1(1.岩手生工研、2. 大阪 府大生命環境) 形質転換リンドウにおける外来遺 伝子の遺伝解析	1010 ○霍田真一1・橋口正嗣1・堀名真 澄2・明石 良1(1. 宮崎大農、2. 沖 縄畜試) Zoysia属の遺伝資源解析—南西 諸島に自生するシバ(Zoysia jaпонica)の遺伝的多様性—	10:45
ポスター発表(偶数番号) 生物農林学系A棟 11:00~12:00					11:00

2日目(8月21日)午後					
8月21日	第1会場(2H101番教室)	第2会場(2H102番教室)	第3会場(2B411番教室)	第4会場(2B406番教室)	第5会場(2B412番教室)
13:00	111 ◆座長 貴島祐治(北大院農) <p>○辻村真衣1・林清音2・橋本絢子2・西塚暁子2・寺地徹2(1.奈良先端大バイオ, 2. 産大工)</p> <p>タバコの活性酸素消去系酵素遺伝子の単離と葉緑体形質転換ベクターの構築</p>	211 ◆座長 氷見英子(岡大資生研) <p>○川浦香奈子1・持田恵一2・萩原保成13(1.京府立大, 2.長浜バイオ大, 3.京府農資センター)</p> <p>パンコムギにおけるストレス応答遺伝子解析用オリゴDNAマイクロアレイの作成および塩応答遺伝子の網羅的な発現解析</p>	311 ◆座長 才宏俊(飼料作物研) <p>○黒柳悟1・水上優子1・尾崎文彦2・大矢俊夫1(1.愛知県農業総合試験場, 2.西三河農協)</p> <p>DNAマーカーによるイネの品種鑑別</p>	411 ◆座長 佐々英徳(千葉大園芸) <p>○山形悦道・土井一行・安井秀・吉村淳(九大院農)</p> <p>イネにおける花粉発育異常遺伝子の同定</p>	511 ◆座長 平林秀介(作物研) <p>○王子軒1・坂口誠二1・岡洋一2・北澤則1・美濃部侑三2(1.株式会社植物DNA機能研究所, 2.株式会社植物ゲノムセンター)</p> <p>ゲノム育種法を用いた短稈コシヒカリの育成</p>
13:15	112 ○氏家綾1・山田哲也1・喜多村啓介1・石本政男2(1.北大院農, 2.北農研) <p>ダイズTACライブラリーからのトコフェロール合成系遺伝子の単離</p>	212 ○築山拓司1・井上國世1・奥本裕1・寺地徹2・田中千尋1・中崎鉄也1・谷坂隆俊1(1.京大院農, 2.京産大工) <p>イネPR-3キナーゼ遺伝子のいもち病感染特異的発現を制御する転写調節因子の解析</p>	312 ○赤田辰治1・佐藤美奈子2・千田峰生1・石川隆二2・原田竹雄2・新関稔2(1.弘大遺伝子, 2.弘大農学生命) <p>ブナorDNA-IGS領域にみられる個体特異的smallIGSの構造解析とその遺伝的特性</p>	412 ○齊藤猛雄・山田朋宏・斎藤新(農研機構野菜茶研) <p>ナス細胞質雄性不稔系統における雄性回復遺伝子の遺伝様式</p>	512 ○石井卓朗1・米澤勝衛2(1.茨城生工研, 2.京都産大工) <p>MAS(marker-assisted selection)の適用による自殖性作物の量的形質の改良・重回帰法で検出されたマーカーによる場合</p>
13:30	113 ○濱田達朗・Kim Sun-Hyung・大谷基泰・島田多音子(石川県大) <p>サツマイモスターチプランテングエンザイム遺伝子のクローニングおよび発現解析</p>	213 大西麻紀子・築山拓司・奥本裕・山平諭・森田美香・中崎鉄也・谷坂隆俊(京大院農) <p>イネ非自律性トランスポゾンmPingの転移を促す遺伝要因</p>	313 ○高上馬希重1・関光2・吉田茂男2・村中俊哉2(1.東大院・農学生命, 2.理研・植物センター) <p>大麻Cannabis sativa L.のcannabinoid生成系酵素遺伝子における多型解析</p>	413 ○山下耕一郎・萩原拓也・長谷川明彦(ホクレン農総研) <p>たまねぎ雄性不稔細胞質のミトコンドリアゲノムにみられるキメラ遺伝子の発現</p>	513 ○塚崎光・福岡浩之・山下謙一郎・若生忠幸・小島昭夫(農研機構野菜茶研) <p>ネギにおけるトレーサビリティ付のためのSSRマーカーによる品種標識法(1)モデル品種における実証試験</p>
13:45	114 ○今山輝之1・吉原法子1・水谷正子2・田中良和2・井野郁男3・飯谷勤4(1.鹿児島大, 2.サントリー先進技術応用研, 3.宮崎大教文, 4.宮崎大農) <p>ダクチアイリスにおけるアントシアニン3-O-アシルトランスフェラーゼcDNAクローニングの単離と解析</p>	214 ○雑賀啓明1・岡本昌彦2,3・森田祥子2・久城哲夫2・神谷勇治2・南原英司2・堤伸浩1・中園幹生1(1.東大農学生命科学, 2.理研・植物科学研究センター, 3.首都大理学) <p>冠水ストレスにさらされたイネ幼苗における植物ホルモンの影響</p>	314 ○福岡浩之1・布目司1・河野いづみ2・宮武宏治1・山口博隆1(1.野菜茶研, 2.STAFF研究所) <p>ナスEST情報の蓄積と配列比較解析によるDNAマーカー開発への利用</p>	414 ○掛田克行・木浦正和(三重大生物資源) <p>オオムギ野生種のS遺伝子座に密接連鎖したF-Box遺伝子の解析</p>	514 ○北浦健生1・河田隆弘1・塚崎光2・福岡浩之2・山下謙一郎2・若生忠幸2・小島昭夫2・北宜裕1(1.神奈川農技, 2.農研機構野菜茶研) <p>ネギにおけるトレーサビリティ付のためのSSRマーカーによる品種標識法(2)育成品種「湘南一本」における品種内DNA多型と標識マーカーの選択</p>
14:00	115 ○川上新一1・金森裕之2・並木信和2・門脇光一1(1.生物研, 2. STAFF研) <p>イネ栽培化過程において失われた遺伝子の探索1.野生イネと栽培イネcDNAライブラリーの比較解析</p>	215 ○廣瀬咲子1・川東広幸1・田切明美1・今石浩正2・大川秀郎3・大川安信4(1.生物資源研, 2.神戸大遺伝子実験センター, 3.福山大生命工学部, 4.農水省技術会議) <p>イネP450(CYP72A21)の薬剤による誘導発現と、その組織特異性</p>	315 ○新畑智也1・齋藤美香1,2・Patricia Vrinten2,3・中村俊樹2(1.日本製粉, 2.東北農研, 3. Bioriginal Food & Science) <p>DNAマーカー選抜による新規コムギ胚乳澱粉変異体の開発</p>	415 ○堀崎敦史・新倉聡(株)トホク) <p>Brassica rapa L.における自家不和合性程度に影響を及ぼす要因II.</p>	◆座長 鳥山欽也(東北大院農) <p>515 ○堀米綾子・池田恭子・伊藤百代・山口有子・長戸康郎(東大農学生命科学)</p> <p>イネの花の形態形成を制御するOPEN BEAK 遺伝子の解析</p>
14:15	◆座長 村井耕二(福井県大生資) <p>116 ○古川勉1,2・前川雅彦3・川上新一1・島田浩章2・門脇光一1(1.生物研, 2.東大農大・生物工, 3.岡大資生研)</p> <p>日本晴型タンニン合成系遺伝子DFRは機能を持っているのか?</p>	◆座長 中園幹夫(東大農学生命) <p>216 ○近藤博明・山元皓二・高原美規(長岡技術科学大)</p> <p>種子発達の初期段階におけるイネ胚乳変異体の発現解析</p>	◆座長 西尾剛(東北大院農) <p>316 ○布目司1・河野いづみ2・宮武宏治1・山口博隆1・福岡浩之1(1.野菜茶研, 2. STAFF研)</p> <p>ナスマイクロサテライトの特性</p>	◆座長 掛田克行(三重大生資) <p>416 ○宮本摩由1・鈴木雄介1・佐々英徳2・平野久2(1.横浜国立大国際総合科学, 2.横浜国立大国際総合科学)</p> <p>リンゴのS遺伝子座領域の解析</p>	516 ○上床修弘・萩原 W. 英悟・橋本曉彦・佐野芳雄(北大院農) <p>イネのose-pat遺伝子座周辺で見出された出穂性に関する遺伝的多様性</p>
14:30	117 ○上田実1,2・藤本優2・有村慎一2・堤伸浩2・門脇光一1(1.農業生物資源研究所, 2.東大農学生命科学) <p>葉緑体移行シグナル成立に関する新規事例</p>	217 ○中村英光1・羽方誠1・梶川真理子1・安藤成子1・天野晃1・土岐尚子1・東直邦1・藤田美紀2・梶垂希子2・関原明2・中澤美紀2・市川尚資2・篠崎一雄2・松井南2・宮尾安藝雄1・土岐精一1・廣近洋彦1・市川裕章1(1.生物研, 2.理研) <p>FOX Hunting Systemを利用したイネ遺伝子の機能解析1.概要と進捗状況</p>	317 泉田敦・千葉拓哉・勝又憲一・鈴木隆夫(サカタのタネ) <p>メロンえそ斑点病抵抗性遺伝子座(nsv)に連鎖した新規DNAマーカーの開発</p>	417 ○角井宏行1・宮本摩由1・佐々英徳2・平野久2(1.横浜国立大総合理, 2.横浜国立大国際総合科学) <p>ニホンナシの花粉特異的F-box遺伝子</p>	517 ○塔野岡卓司・吉岡藤治(農研機構・作物研) <p>日本産オオムギ品種の早熟性の遺伝分析II.ミサトゴールデンゴールデンメロのRILsにおける出穂期と短日早晩性の関係</p>
14:45	118 ○長岐清孝1,2・村田稔1,2(1.岡山大・資生研, 2.科技構・CREST) <p>サトウキビにおける動原体特異的ヒストンの解析および動原体DNAの同定</p>	218 ○羽方誠1・中村英光1・浅野敬幸1・梶川真理子1・安藤成子1・天野晃1・土岐尚子1・東直邦1・藤田美紀2・梶垂希子2・関原明2・中澤美紀2・市川尚資2・篠崎一雄2・松井南2・小松節子1・宮尾安藝雄1・土岐精一1・廣近洋彦1・市川裕章1(1.生物研, 2.理研) <p>FOX Hunting Systemを利用したイネ遺伝子の機能解析2.FOX イネ系統における導入遺伝子の解析</p>	318 ○泉田敦・千葉拓哉・勝又憲一・鈴木隆夫(サカタのタネ) <p>メロンつる割傷レース0.2抵抗性遺伝子(Fom1)に連鎖した新規DNAマーカーの開発</p>	418 角井宏行1・佐々英徳2・平野久2(1.横浜国立大総合理, 2.横浜国立大国際総合科学) <p>ニホンナシの花粉で発現するSKP1様遺伝子の単離</p>	518 ○齋藤大樹・寺西健・奥本裕・中崎鉄也・谷坂隆俊(京大院農) <p>韓国統一系品種群の生態型分化に関わる出穂期遺伝子の同定</p>
15:00	119 ○貴島祐治1・橋田慎之介2・内山貴子1・高田美和子1・三上哲夫1・佐野芳雄1(1.北大院農, 2.東大分生研) <p>DNAメチル化と宿主因子による植物トランスポゾンの制御</p>	219 ○浅野敬幸・羽方誠・中村英光・市川裕章・林長生・廣近洋彦・小松節子(農業生物資源研) <p>イネカルシウム依存性プロテインキナーゼ遺伝子族の機能解析</p>	319 ○米丸淳一1・石川吾郎1・福岡浩之2・齋藤美香1・中村俊樹1(1.東北農研, 2.野菜研) <p>イネおよびアラビドプシスの配列データベースを用いたPLUGマーカー作製のためのWebシステムの構築</p>	419 ○福山利範・渡邊敏行(新潟大農) <p>イネの光合成産物転流量はシンクサイズに依存する</p>	◆座長 土岐精一(生物研) <p>519 Sopian, T. 1・篤峰 2・平田豊 1(1.農工大.院.国際環境農学.植物遺伝育種, 2.農工大.農連大.植物遺伝育種)クワとカラタチ突然変異体のホルモン生合成制御</p>
15:15	120 ○大木信彦・奥本裕・築山拓司・中崎鉄也・谷坂隆俊(京大院農) <p>イネ品種銀坊主における新規トランスポゾンPyongの同定</p>	220 ○佐藤美緒1・竹本陽子1・杉野彩3・熊丸敏博1・小川雅広2・T.W.Okita3・佐藤光1(1.九大農, 2.山口県大生活科学, 3.ワシントン州大生物科学) <p>イネ胚乳特異的Pd欠損変異esp2の貯蔵タンパク質集積に及ぼす効果</p>	320 ○石川吾郎・米丸淳一・齋藤美香・中村俊樹(東北農研) <p>PLUGウェブシステムを用いたコムギおよびオオムギのWx座近傍PCRマーカーの開発</p>	◆座長 入来規雄(北海道農研) <p>420 ○経塚淳子1・助川 慎1・古谷育代2・及川鉄男2・氏家 伸1・前川雅彦3(1.東大院農学生命科学, 2.科学技術振興機構, 3.岡大生物資源)</p> <p>イネの腋芽形成をコントロールする分子機構の解析</p>	520 ○重永直枝1・大石真由美1・宮下千枝子1・平田豊1(農工大.院.国際環境農学・植物遺伝育種) <p>環境誘導された変異型ミツバのアントシアニン発現メカニズムの解析</p>

2日目(8月21日)午後

第6会場(2B409番教室)	第7会場(2B507番教室)	第8会場(2B508番教室)	第9会場(2C101番教室)	第10会場(2C102番教室)	8月21日						
<p>◆座長 中山博貴(九州農研)</p> <p>611 ○大西孝幸1・菅原正士1・山田稔子1・菊池一浩2・吉羽洋周3・平野博之4・堤伸浩1(1.東大院農学、2.基礎生物学研究所、3.日立・中研、4.東大院理学) マルチストレス応答性転写因子 OsNAC6</p> <p>612 ○岡田吉弘1・木村貴志1・村田達郎2・齋藤 彰1(1.九州農研、2.九州東海大) サツマイモ斑紋モザイクウイルス系統(SPFMV)の複合感染に対する形質転換サツマイモのウイルス抵抗性評価</p> <p>613 ○藤田大輔・土井一行・吉村淳・安井秀(九大農研) Oryza glaberrimaに見出された新たなツマグロコバク抵抗性遺伝子</p> <p>614 ○豊元厚志1・釘宮敏浩1・岡田吉弘2・木村貴志2・齋藤彰2(1.(株)ミップス、2.九州農研) カンキツグリーニング病菌高感度診断法の開発</p> <p>615 ○吉岡藤治1・培野岡司1・吉田めぐみ2・河田尚之2(1.作物研、2.九州沖繩農研) オオムギの複数の形質を改変した準同質遺伝子系統の赤かび病抵抗性</p>	<p>◆座長 中崎鉄也(京大院農)</p> <p>711 ○森中洋一1・犬飼義明2・坂本知昭3・芦刈基行1・北野英己1・松岡信1(1.名大生物機能開発、2.名大院生命農学、3.東大院農学生命科学) イネプラシステロイド受容体遺伝子(OsBR1)の育種的可能性</p> <p>712 ○坂本知昭1・森中洋一2・上口(田中)美弥子2・田中育司3・北野英己2・松岡 信2(1.東大院・農、2.名大・生物機能開発、3.生物研) イネプラシステロイド欠損直立葉変異体の解析</p> <p>713 ○河野いづみ1・松原一樹2・野々上慈徳1・山本伸一2・矢野昌裕2(1.農林水産先端技術研究所、2.農業生物資源研究所) イネ日本型品種日本晴とコシヒカリのBC1F1集団を用いた出穂期のQTL解析</p> <p>714 ○津呂正人1・南山泰宏2・久保 崇3・平井正志2.4(1.名城大農、2.京都農産、3.専修大北海道短大、4.京都府大院農) トウガラシにおける疫病抵抗性に関するQTL解析</p> <p>715 ○神田伸一郎・須藤亮(青森農林総研) イネの第4染色体上に検出された障害型耐冷性に関するQTLのマッピング</p>	<p>◆座長 秋本正博(帯畜大)</p> <p>811 ○笠沼恒男(横浜市大木原生研) 日本在来野生ムギ根ミズタカモジのSSRに基づく遺伝的多様性</p> <p>812 Hien, N.L.1・D.T. Re2・W.A. Sarhad2・豊平田2(1.農工大連大、2.農工大国際環境農学) ベトナム在来香り品種の特性</p> <p>813 ○岩崎理恵・大田正次(福井県大生物資源) コムギ近縁野生種Aegilops umbellulata Zhuk.の形態的変異と地理的分布</p> <p>814 イエトントン・山口裕文(大阪府大院生命環境科) 葉緑体DNAのtrnT-Fの非コード領域のシークエンスからみたマメ化植物のVigna属 Ceratropis 亜属における種の系統関係</p> <p>815 ○福島見恵1・保田謙太郎2・山口裕文1(1.大阪府大院生命環境、2.九州・沖繩農研) 野生アズキの分類評価15.アズキ、ヒメツルアズキ、タケアズキにおけるα-アミラーゼ遺伝子第3イントロン領域の地理的変異</p>	<p>◆座長 寺田理枝(基生研)</p> <p>911 ○鈴木一典1・郷内武1・藤田光子1・斎藤宏之2・阿部知子2・霞正一1(1.茨城生工研、2.理研フロンティア) コムギの突然変異育種II.重イオンビーム照射により誘発された花色変異</p> <p>912 山田哲也1.2・福岡修一3・松田史生2・櫻井美奈子2・宮川友子2・喜多村啓介1・宮川恒2.4・若狭暁2.5.6(1.北大院農、2. CREST、3.生物研、4.京大院農、5.作物研、6.東京農大) 5MT抵抗性イネ突然変異体の遺伝解析</p> <p>913 ○上野敬一郎1・白尾史1・永吉実孝2・今給黎征都2・郡山啓作2・長谷純宏3・田中淳3(1.鹿児島ハイオ研、2.鹿児島農試、3.原研高崎研) イオンビーム再照射による輪グクの再改良</p> <p>914 ○豊澤佳子1・徳永貴史1・井原康晴1・佐藤光1・西愛子1・大坪研一2(1.九大農、2.食総研) MNU処理によるイネのブルナーゼ欠損変異の作製</p> <p>915 ○徳永貴史1・田中康昌1・井原康晴1・豊澤佳子1・大坪研一2・佐藤光1(1.九大農、2.食総研) MNU処理による可溶性澱粉合成酵素III欠損変異の作製と特性解析</p>	<p>◆座長 田部井豊(生物研)</p> <p>1011 小山いずみ・杉本良・平田豊(農工大、院、国際環境農学、植物遺伝育種) 日本在来のA. rhizogenes を利用した形質転換体の解析</p> <p>1012 ○桂桂子・井本朋美・山元皓二・高原美規(長岡技術大工) コムスにおけるAgrobacterium tumefaciensを用いたin planta形質転換法</p> <p>1013 ○小沢憲二郎1・村山誠治2・小林愛1・半田裕一2(1.北農研、2.生物研) コムギ脱共役タンパク質遺伝子導入によるイネへの低温耐性付与</p> <p>1014 ○角谷裕喜1・森真理2・吉田薫3・長谷川博1(1.滋賀県立大環境科学、2.滋賀県農技振、3.東大・農学生命科学) イネのフィチン酸合成関連遺伝子のヨシへの導入</p>	<p>◆座長 植松千代美(大阪市大理)</p> <p>1015 ○遠藤貴司・山口誠之・片岡知守・中込弘二(東北農業研究センター) 圃場条件下におけるイネの自然交雑頻度</p>	<p>◆座長 勝田真澄(作物研)</p> <p>616 ○中山博貴1・田中勝1・高畑康浩1・岩堀英晶1・佐野善一2(1.九州沖繩農研、2.国際農研) 甘しょ品種ハイスターチのサツマイモネコブセンチュウ抵抗性に関連するAFPLPマーカー</p> <p>617 ○Xu Xin1, Hiroshi Kato2, Shinji Kawasaki1(1.NIAS: Natl. Inst. of Agrobiological Sciences, 2. NICS: Natl. Inst. of Crop Sciences) Fine Mapping of Rice Blast Resistance Gene Pi-kh</p> <p>618 ○入来規雄1・黒木慎1・齋藤浩二1・石井現相1・渡部信義2(1.北海道農研、2.岐阜大農) コムギblue grain品種の抗酸化活性</p> <p>619 ○高山敏之・柳澤貴司(近畿中国四国農研センター) オオムギの加熱後褐変におけるモチ子とプロアントシアニジンフリー遺伝子(ant13)との関係</p> <p>620 ○池田達哉・荒木悦子・藤田由美子・矢野博(近中四農研) 小麦品質改良のための種子貯蔵蛋白質遺伝子の研究 VII. 低分子量グルテニン・サブユニット遺伝子型の種類とそのDNAマーカー化</p>	<p>◆座長 津呂正人(名城大農)</p> <p>716 ○吉川貴徳1・山田直弘2・奥本 裕1・矢ヶ崎和弘2・佐山貴司1・金 世雄1・松井宏允1・中崎鉄也1・谷坂隆俊1(1.京大院農、2.長野中農農試) ダイズ品種Pekingの強度SMV抵抗性に関するQTL解析</p> <p>717 ○松井宏允・中崎鉄也・奥本 裕・片板宗毅・佐山貴司・金 世雄・吉川貴徳・谷坂隆俊(京大院農) ダイズの開花期および登熟期間に関するQTL解析</p> <p>718 ○Ohm Mar Saw・土井一行・吉村淳(九大農研) ミャンマー産イネ品種の出穂期QTLの変異</p> <p>719 ○河野律子・土井一行・安井秀・望月俊宏・吉村淳(九大農研) 起源の異なる浮イネ品種における浮イネ性QTLの比較</p> <p>720 ○田畑美奈子1・平林秀介2・竹内善信2・安東都男2・飯田幸彦1・大澤良3(1.茨城生工研、2.作物研、3.筑波大生命環境) 水稻の登熟期の高温条件下における青白米発生率に関するQTL解析</p>	<p>◆座長 小松田隆夫(生物研)</p> <p>816 ○石橋篤志・山岸博(京都産大工) 日本のダイコンの起源と分化.XII. ミトコンドリアのatp6領域におけるハツカダイコンと日本のダイコンの塩基配列変異</p> <p>817 ○尾崎昭子・石橋篤志・山岸 博(京都産大工) 日本のダイコンの起源と分化.XI. ダイコン属植物の葉緑体におけるtrnLからpsbGに至る領域の塩基配列多型</p> <p>818 山岸 博・飯田崇伸・石橋篤志・尾崎昭子(京都産大工) シークエンスに基づく葉緑体ゲノムのPCR-RFLPによる栽培ダイコンの起源の推定</p> <p>819 ○柴田佐知子1・福永健二2・佐藤洋一郎3(1.岐阜大院農学、2.国際日本文化研究センター、3.総合地球環境学研究所) 熱帯型aponicaおよび温帯型 japonicaを判別するSCARマーカーの作成</p> <p>820 ○武田真1・安藤裕崇2・一井眞比古1・武田和義2・R. von Bothmer3(1.香川大農、2.岡大資生研、3.スウェーデン農科大) アメリカ産オオムギ属野生種の倍数的進化に関する分子細胞遺伝学的解析</p>	<p>◆座長 中村都郎(千葉大院自然)</p> <p>916 ○西愛子1・佐藤光1・大坪研一2・中村保典3(1.九大農、2.食総研、3.秋田県大生物資源) イネの胚乳澱粉難糊化性低アミロース変異lugの澱粉特性</p> <p>917 ○井原康晴1・吉田陽子1・大坪研一2・中村保典3・佐藤光1(1.九大農、2.食総研、3.秋田県立大生物資源科学) イネ胚乳中ADP-glucose pyrophosphorylase large subunitに関する変異体の作製</p> <p>918 桐生優子1・西愛子1・中村保典2・佐藤 光1(1.九大農、2.秋田県立大生物資源科学) イネflo1変異はPPDK遺伝子変異に起因する</p> <p>919 ○上田悠加1・竹本陽子1・熊丸敏博1・大坪研一2・小川雅広3・佐藤光1(1.九大農、2.食総研、3.山口県大生活科学) イネグルテリン前駆体を集積する57H変異遺伝子Glup5及びglup7のトリソミック分析</p> <p>◆座長 長岐清孝(岡山大資生研)</p> <p>920 ○木口志彦・関口博史・藤野賢治(北海道グリーンバイオ) 転移活性のあるイネトランスポソンの単離</p>	<p>◆座長 植松千代美(大阪市大理)</p> <p>1016 田部井豊・蒲池伸一郎・望月淳子(生物研) スイカ線斑モザイクウイルスの外被タンパク質遺伝子を標的としたジーンサイレンシングによるウイルス抵抗性キュウリ作出の試み</p> <p>1017 ○小長谷賢一・蒲池伸一郎・安藤彬尋・小川泰一・萩尾高志・田部井豊(生物研) アグロバクテリウムを用いたBrassica oleraceaとB. rapaの形質転換効率向上のためのカルス培養条件および品種間差の検討</p> <p>1018 ○山岸紀子1・古谷規行2・静川幸明2・吉田泰二1・藤原誠1・日高操1(1.東北農研、2.京都農産) PTGSを示すGFP遺伝子導入サイズの種子形成過程における発現解析</p> <p>◆座長 石本政男(北海道農研)</p> <p>1019 ○萩尾高志・須永亜矢子・蒲池伸一郎・小川泰一・土生芳樹・望月淳子・安藤彬尋・小長谷賢一・津田麻衣・田部井豊(生物研) エレクトロポレーション法によるコムギ完熟種子への遺伝子導入</p> <p>1020 ○藤原誠1・古谷規行2・山岸紀子1・静川幸明2・高畑義人3・吉田泰二1・日高操1(1.東北農研、2.京都農産、3.若手大農) ダイズわいびウイルス外被タンパク質遺伝子逆向き反復配列のダイズへの導入</p>	<p>13:00</p> <p>13:15</p> <p>13:30</p> <p>13:45</p> <p>14:00</p> <p>14:15</p> <p>14:30</p> <p>14:45</p> <p>15:00</p> <p>15:15</p>

2日目(8月21日)午後					
8月21日	第1会場(2H101番教室)	第2会場(2H102番教室)	第3会場(2B411番教室)	第4会場(2B406番教室)	第5会場(2B412番教室)
15:30	121 ◆座長 門脇光一(生物研) ○大村泰之・西田英隆・明石由香利・吉野照道・加藤謙司(岡山大学農) 6倍体コムギの春化要求性を支配するVrn-1同祖遺伝子の第1イントロンにおける欠失変異	221 ◆座長 市川裕章(生物研) ○柏谷祐樹・崎崎公久・生井潔・天谷正行(栃木農試) ニラの蕾由来ESTの蓄積とマイクロアレイの作製	321 ◆座長 佐藤和広(岡山大資生研) ○益田悠・小池晶子・太田理恵子・門奈理佐・美濃部信三(植物ゲノムセンター) イネ品種間における一塩基多型(SNPs)の探索と利用	421 ○永井新生・佐藤雅志(東北大院生命) イネ種子根の伸長方向にみられる、重力および酸感受性の競合関係における品種間差異	521 ○藤崎祐介1・北野英己2(1.名大院生命農学, 2.名大生物機能開発利用研究センター) イネ突然変異体を用いた倒伏抵抗性に関わる桿形質の形態的特徴解析
15:45	122 ○吉見麻衣子・安本景太・山岸博・寺地徹(京産大工) オグラ型雄性不稔に対するハンカダイコン穏性回復遺伝子の構造変異	222 ○小村敏一1・渡辺信1・Frasse Pierre2・Bouzayen Mondher2・柴田大輔3・江面浩1(1.筑波大院生命環境, 2.INP-ENSAT, 3.かずさDNA研) トマト果実発達過程におけるインプレノイド合成経路のトランスクリプトーム解析	322 ○小池晶子・益田悠・門奈理佐・美濃部信三(植物ゲノムセンター) イネSNPタイプングチップの開発	422 ○池田恭子・伊藤百代・三好一丸・経塚淳子・長戸康郎(東大農学生命) イネの分裂組織アイデンティティ転換を制御するAPO1, APO2遺伝子の解析	522 ○杉本良平・小山いづみ・平田豊(農工大・国際・植物遺伝育種) 形質転換タバコにおける導入遺伝子発現の不安定性
16:00	123 ○安本景太・吉見麻衣子・寺地徹・山岸博(京産大工) オグラ型雄性不稔に対する「園紅」型穏性回復遺伝子の分布	223 ○堀川明彦・平野了也・寺地徹(京産大工) コムギ・エギロブス属内へ生じたミトコンドリアrpl5遺伝子の核ゲノムへの移行	323 ○安井康夫1・森正之2・大西近江1・Clayton G. Campbell3・大田竜也4(1.京大農, 2.石川農短大農業資源研究所, 3.Kade Res. Ltd., 4.総研大先導研) ソバBACライブラリーの作成	◆座長 岡本吉弘(酪農学園大) 423 下田聡1・芝池博幸2・川島茂人2・三澤孝1・伴義之1・岡三徳2(1.種苗管理セ, 2.農環研) トウモロコシ花粉の長距離飛散と交雑に関する研究(第3報)	◆座長 矢野健太郎(かずさ研) 523 細島沙織1・大橋芳2・周金妹2・呉珊3・平田豊2(1.農工大・農・植物遺伝育種, 2.農工大・院・国際・植物遺伝育種, 3.浙江大・農・生物工学) 川野ナツタダイダイと福原オレンジの接木キメラにおける果実形質の比較
16:15	124 ○佐伯明日香1・川浦香奈子1・村井耕二2・萩原保成1.3(1.京都府大農, 2.福井県大生物資源, 3.京都府農資センター) 核・細胞質雑種コムギに存在する異種ミトコンドリア遺伝子の分子解析	224 ○三好健太郎1・辻寛之1.2・雑賀啓明1・堤伸浩1・中国幹生(1.東大院農学生命科学, 2.名大生物機能開発利用センター) 冠水条件下のイネにおけるヒストンアセチル化と遺伝子の発現調節	324 ○生井潔1・矢野健太郎2・櫻井望2・柴田大輔2・柏谷祐樹1・天谷正行1(1.栃木農試, 2.かずさDNA研) イチゴ育種に向けた果実由来ESTの蓄積	424 ○天野克紀1・芝池博幸2・杜明遠2・川島茂人2・松尾和人2・三澤孝1・伴義之1・岡三徳2(1.種苗管理セ, 2.農環研) 防風ネットによるトウモロコシの花粉飛散と交雑の抑制作用(第1報) イネにおける雑草に対する競争力の遺伝解析	524 ○市川直史1・堀内優貴1・古原洋2・森田弘彦3・大西一光1・佐野芳雄1(1.北大院農, 2.北海道中央農業試験場, 3.中央農研北陸研究センター) イネにおける雑草に対する競争力の遺伝解析
16:30	◆座長 寺地徹(京産大工) 125 ○持田恵一1・川浦香奈子2・萩原保成2.3(1.長浜バイオ大学, 2.京都府立大, 3.京都府農資センター) パンコムギESTの大量解析による転写因子遺伝子群の網羅的な発現プロファイル	◆座長 堤伸浩(東大農学生命) 225 ○太田垣駿吾・洪鎮成・後藤一法・増田税・金澤章(北大・院・農) 植物ウイルスベクターによる外来遺伝子の転写不活性化誘導とその維持に関する解析	◆座長 布日司(野菜茶研) 325 ○夏正俊1・渡辺啓史2・原田久也1(1.千葉大学園芸学部, 2.国際農林水産業研究センター) 混合したサイズのBACライブラリーからの特定クローン単離法	425 ○小松里奈・Anurug Poeaim・松田晴・村田達郎(九州東海大農) Zoysia属植物における茎頂由来カルスからの植物体再分化	525 ○大西篤1・佐々木敦司1・伊藤勇樹2・清水博之2・佐野芳雄1(1.北大院農, 2.北海道農研) イネの3出穂遺伝子(Se1, E1f1, m-Ef1)に関する8準同質遺伝子系統(NILs)を用いたエピソードおよびGEIの評価
16:45	126 石橋万智子1・小林史典1・村井耕二2・中村千春1・宅見薫雄1(1.神戸大農, 2.福井県大生物資源) パンコムギ日本在来品種における低温凍結耐性とVrn-1遺伝子発現の多様性	226 小関麻衣子・後藤一法・増田税・金澤章(北大・院・農) ベチュニア花弁における星型模様形成には転写後のRNA分解が関与する	326 畑越純純・佐藤和広・武田和義(岡山大学資生研) オオムギ染色体組換え置換系統群の高解像度ジェノタイプング	◆座長 松田靖(九州東海大農) 426 ○野崎潤子・山元皓二・高原美規(長岡技術大) PSR培地を用いたコショウ原種の増殖法の確立	◆座長 岩田洋佳(中央農研) 526 ○渡邊敦史1・平尾知士2・栗田学1・近藤慎一1・高田克彦2(1.林育セ, 2.秋県大院本高研) スギの葉色変異体黄金スギを利用した花粉飛散距離と交雑率の関係
17:00	127 ○杉江淳・Nayden Naydenov・中村千春・宅見薫雄(神戸大農) パンコムギオルタナティブオキシダーゼ遺伝子Waox1aの低温ストレス下における役割	227 ○新見愛1・種坂英次1・安本知子2・勝田真澄2・吉田元信1(1.近畿大農学, 2.作物研) ゴマ種子オイルボディ構成タンパク質の構造機能解析	327 内井沙耶香1・宣鼓珍2・江面浩2(1.筑波大農学生命環境, 2.筑波大学院生命環境) トマトにおけるハイスルーブットなアグロバクテリウム形質転換法	427 ○出原慧1・森宏一1・我妻尚広2・岡本吉弘2(1.秋田県立大学, 2.酪農学園大学) イネの薬培養における照明条件およびゲランガム培地でのカルス形成と植物体再分化に及ぼす影響	527 ○井上悦子1・吉廣卓哉2・川路英哉3・堀端幸4・中川優1・和大学院システム工, 2.和大学院システム工, 3. NTTソフトウェア, 4. 近畿大生物理工) 大規模なイネトランスポンソンの解析のためのデータベースシステム
17:15	128 ○氷見英子・野田和彦(岡山大資生研) コムギのフラボノイド色素合成に関与するF3H遺伝子の座乗位置と発現解析	228 ○高岡素子1・山中結子2・平野久2(1.鎌倉女子大, 2.横浜市大院・国際総合科学) 酒米の心白におけるタンパク質発現のプロテオーム解析	328 ○金森裕之・佐治章子・備藤毅人・唐澤沙・吉原里枝・栗田加奈子・菊田有里・並木信和・呉健忠・松本隆・佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム) 栽培イネ(日本晴)ESTマーカーを用いた野生イネゲノムの多様性の解析	428 ○岡本吉弘(酪農学園大) イネの薬培養においてカルス形成率および植物体再分化率を上させる培養操作	528 ○矢野健太郎1・渡邊学2・山本直樹1・前田ふみ2・津金胤昭2・柴田大輔1(1.かずさDNA研, 2.千葉農総研セ) 雑性ミトコンドリアゲノムのESTデータベース MIBASE
17:30	229 ○談謙中1.2・山中結子1・川崎博史1・南里智洋1・平野久1(1.横浜市大院国際総合, 2.蘇州大農学院) ダイズ種子の発芽初期における胚軸タンパク質の経時的変動のプロテオーム解析		329 ○藤澤雅樹・呉健忠・山形晴美・神谷裕・中村まり・柴田未知恵・伊藤幸代・山本麻裕・濱田昌雄・細川聡美・片桐敏・佐治章子・吉原里枝・唐澤沙・栗田加奈子・菊田有里・町田佳代・備藤毅人・金森裕之・並木信和・松本隆・佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム) イネ品種「Kasalath」第8染色体セントロメアのゲノム構造および品種「日本晴」との比較解析		529 ○小林洋宜1・山元皓二1・高原美規1(1.長岡技術科学大学 工学部)コシヒカリ窒素代謝系遺伝子の発現解析

2日目(8月21日)午後					
グループ研究集会					
8月21日	2B406番教室	2B409番教室	2C101番教室	2C102番教室	
17:30					
18:00 ↓ 20:00	グループ研究集会I 農作物の生殖成長制御 世話人: 村井耕二(福井県立大学生物資源学部) 「細胞質雑種不稔性研究の現状と問題点—CMS原因遺伝子とRfの相互作用はどこまで明らかになったか—」 久保友彦(北海道大学院農学研究所)	グループ研究集会II 植物の生殖過程におけるゲノム障壁 世話人: 倉田のり(遺伝研) 堤伸浩(東大大学院農学生命)	グループ研究集会III 第34回生物進化・細胞遺伝懇話会 世話人: 木庭卓人(千葉大学園芸) 森直樹(神戸大学) 「セントロメアのパラドクス」 長岐清隆(岡山大学資源生物科学研究所)	グループ研究集会IV (17:30-19:30) 新しい「農の世界」を探るII 世話人: 高木俊江(東京大学農学部)	
					「その14 遺言〜宮沢賢治のメッセージ〜」 橋 泰憲(筑波大農学生命環境科学研究科)

2日目(8月21日)午後					
第6会場(2B409番教室)	第7会場(2B507番教室)	第8会場(2B508番教室)	第9会場(2C101番教室)	第10会場(2C102番教室)	8月21日
◆座長 荒木悦子(近中四農研) 621 ○藤井潔・辻孝子・吉田朋史(愛知農総試) 刈遅れによる小麦粉色色の変化と品種間差異	◆座長 安東郁男(作物研) 721 ○宮武宏治・布目司・山口博隆・齊藤猛雄・福岡浩之(農研機構 野菜茶研) SSRマーカーを用いたナス単為結果性のQTL解析	◆座長 山根京子(大阪府大生環) 821 ○遠藤昇1・小川紹文2(1.国際環境研究協会、2.宮崎大学) イネ白葉枯病抵抗性遺伝子Xa14のアジアにおける地理的傾斜とアインザイム分類に基づく生態型との関係	921 ○関口博史・藤野賢治(北海道グリーンバイオ研究所) Oryza属、イネ品種におけるイネトランスポゾンDart/nDartの分布	1021 ○小松晃1,3・大武美樹3・杉本和彦2・川岸万紀子1,3・大島 正弘1・若狭暁1,3(1.農研機構・作物研、2.生物研、3.CREST) 緑色組織高発現プロモーターを用いたイネ形質転換体による物質生産への利用	15:30
622 講演取消	722 ○佐藤秀樹・佐藤美栄子・高橋秀和・服部浩之・茅野充男・森宏一・赤木宏守(秋田県立大) イネのカドミウム蓄積に関するQTL解析	822 ○片山寛則1・植松千代美2(1.神戸大農食資源センター、2.大阪市大院理) バラ科の系統解析(IV)ナン属葉緑体ゲノムのrps16-trnQ遺伝子間に見つかった高頻度組み換え領域	922 ○藤野賢治・木口忠彦・関口博史(北海道グリーンバイオ研究所) イネトランスポゾンDartの転移性	1022 石丸健太郎1・渡辺博2・鎌田博2・江面浩2(1.筑波大院バインス、2.筑波大院生命環境) エチレン受容体遺伝子を導入した不稔組織交換タバコの特定網室での形質安定性の評価	15:45
623 ○勝田真澄1・安本知子2・山田哲也1(1.作物研究所、2.中央農研センター) コムギにおけるセサミンおよびセサミン含有量の変異と遺伝解析	723 ○佐山貴司・中崎鉄也・奥本裕・金世雄・吉川貴徳・松井宏充・谷坂隆俊(京大院農) ダイズ種子の冠水抵抗性に関するQTLのマッピング	823 ○高橋弘子1・森直樹2・河原太八3・中村郁郎1(1.千葉大院自然科学、2.神戸大農、3.京大院農学) コムギ-エギロプス属2倍体種のPolA1遺伝子第19イントロンのDNA多型	923 ○近藤禎二1・渡邊敦史1・平尾知士2(1.独)林木育種センター、2.秋田県大院)	◆座長 大島正弘(作物研) 1023 ○喜多洋一1,2・喜多村啓介1・北山雅彦2・石本政男3(1.北大院農、2.愛媛女子短大、3.北農研) スギ3倍体におけるSSRマーカー多型	16:00
624 ○和田卓也1・梅本貴之2・青木法明2・坪根正雄1・尾形武文1・近藤始彦2(1.福岡農総試、2.作物研) 熱水処理による溶出デンプンと炊飯米の食味との関係	724 ○榎原崇裕1・橋口正嗣2・磯部祥子1・佐藤修正3・笹本茂美3・加藤友彦3・廣井 清貞1・奥村 健治1・田畑哲之3・明石 良2(1.北海道農業研究センター、2.宮崎大学農学部、3.かずさDNA研究所) 宮崎・北海道2地点におけるミヤコグサの形態特性に関するQTL解析	◆座長 森直樹(神戸大農) 825 ○ Sarhadi Wakil Ahmad1, Nguyen Loc Hein2, D. T. Re1, 平田豊1(1.農工大・院・国際環境農学・植物遺伝育種、2.農工大・農連大・植物遺伝育種) アフガニスタンの香米品種における形態的・遺伝的解析	◆座長 郷内武(茨城生工研) 924 馮瑩瑩・高橋秀和・赤木宏守・森宏一(秋田県立大学生物資源学部) イネの種間非対称細胞融合由来個体のゲノムの画像解析	1024 ○高島幸一・植松千代美1・片山寛則2・Cathie Martin3(1. 大阪大院理、2. 神戸大農食資源センター、3. John Innes Centre) ハマモミ由来のPEACE遺伝子を導入した形質転換タバコの特徴	16:15
◆座長 梅本貴之(作物研) 625 ○緒方大輔1・山田直弘2・吉川貴徳1・寺井雅一3・佐山貴司1・寺石政義1・松井勤1・片岡圭子1・中崎鉄也1・奥本裕1・矢ヶ崎和弘2・戸田登志也3・谷坂隆俊1・山田利昭1(1.京大院農、2.長野中農信試、3.フジッコ(株)) 大豆イソフラボン集積の温度感応期および温度感応性の遺伝的変異	725 ○米林涉司1・坂口誠二1・由井里香1・王子軒1・美濃部侑三2(1.株式会社植物DNA機能研究所、2.株式会社植物ゲノムセンター) 野生イネ(Oryza rufipogon)と栽培イネ(O. sativa)とのF2交雑集団を用いた幼苗期耐冷性に関するQTL解析	826 ○河原太八1・山根京子1,2(1.京大院農、2.大阪府大院生命環境) 葉緑体DNA塩基配列を利用したコムギ近縁野生種 Aegilops mutica のジェノタイプと地理的分布	925 ○宮下千枝子1・石川駿二2・三位正洋3(1.東京農総研、2.東京農工大農、3.千葉大院基) 種子へのホルチン処理によるブルーベリー種間雑種の倍数体の作出	1025 ○石本政男1・西澤けいと1・寺石政義2・内海 成2・吉川正明2(1.北農研、2.京大院農) 血圧降下作用を有する改変型β-コングリシニンを蓄積するサイズの開発	16:30
626 高橋浩司・羽鹿牧太・平賀勤・戸田恭子(作物研究所) ダイズ子実のカルシウム含有量は豆腐の硬さに関与する	◆座長 和田卓也(福岡農総試) 726 ○金丸京平・山田哲也・喜多村啓介(北大院農学) ダイズ種子中のイソフラボン含量向上に向けた遺伝育種学的研究 2.イソフラボンマクロトランスフェラーゼ活性の調査	827 ○山根京子1,2・河原太八2(1. 大阪大院生命環境、2. 京大院農) コムギ-エギロプス属植物のデータからみた葉緑体マイクロサテライトの進化とそのジェノタイプへの応用	926 ○太田雄三1・服部玄1・千葉典子2・奥西麗2・平田豊2(1. 東京農工大・連大 2. 東京農工大・国際環境農学) アブラナ科種間キメラ由来するCMSの葉緑体ゲノム解析 2.RuBisCOに關係する配列の解析	1026 ○大橋芳1・茂木長1・服部玄2・太田雄三2・平田豊1(1. 農工大・院・国際環境農学・植物遺伝育種、2. 農工大・院・連大・植物遺伝育種) ダイコンと赤キャベツとの細胞融合植物の後代由来するCMS系統の特徴	16:45
627 ○穴井豊昭・高橋優・西田和恵・S. M. Rahman・高木伸(佐賀大農学部) 高バラムチン酸ダイズ系統で見出された突然変異遺伝子	727 金丸京平・王紹東・山田哲也・喜多村啓介 ダイズ種子中のルテイン含量向上を目指した遺伝育種学的研究 1. 高ルテイン含有ツルマメの同定	828 ○He, Xueqin1,3・Qingchang Liu1・Koshun Ishiki2(1. China Agri. Univ., 2. JIRCAS-Okinawa, 3. Inner Mongolia Agri. Univ.) Genetic diversity among sweet potato landraces in China revealed by RAPD and AFLP markers	927 ○岡安浩次・野田珠理・平田豊(農工大・院・国際環境農学・植物遺伝育種)	1027 ○岡安浩次・野田珠理・平田豊(農工大・院・国際環境農学・植物遺伝育種) 接木によるハボタンキメラの解析	17:00
628 ○松岡希宗・笹川和朗・穴井豊昭(佐賀大農学部) RNAi法による高オレイン酸イネの作出	728 ○前田節子1・新村洋人2・中川公太2・森田明雄1(1. 静岡大農、2. FANCL中央研究所) イネ品種の混植が玄米および発芽玄米のアミノ酸含量におよぼす影響		928	1028	17:15

2日目(8月21日)午後				
グループ研究集会				
2B406番教室	2B409番教室	2C101番教室	2C102番教室	8月21日
グループ研究集会I 農作物の生殖成長制御 世話人: 村井耕二(福井県立大学生物資源学部)	グループ研究集会II 植物の生殖過程におけるゲノム障壁 世話人: 倉田のり(遺伝研) 堤 伸浩(東京大学大学院農学生命)	グループ研究集会III 第34回生物進化・細胞遺伝懇話会 世話人: 木庭卓人(千葉大学園芸) 森直樹(神戸大学)	グループ研究集会IV (17:30-19:30) 新しい「農の世界」を探るII. 世話人: 高木俊江(東京大学農学部)	17:30 ↓ 18:00 ↓ 20:00
「細胞質雄性不稔性研究の現状と問題点-CMS原因遺伝子とRfの相互作用はどこまで明らかになったか-」 久保友彦(北海道大学大学院農学研究所)		「セントロメアのパラドクス」 長岐清隆(岡山大学資源生物科学研究所)	「その14 遺言～宮沢賢治のメッセージ～」 橋 泰憲(筑波大学生命環境科学研究科)	

講演番号・座長一覧

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場
2H101	2H102	2B411	2B406	2B412	2B409	2B507	2B508	2C101	2C102
101-105 朝倉史朗 8:30~9:45	201-205 半田裕一 8:30~9:45	301-305 近江戸伸子 8:30~9:45	401-405 畠山勝徳 8:30~9:45	501-505 森一幸 8:30~9:45	601-605 青山聡 8:30~9:45	701-705 坂本知昭 8:30~9:45	801-805 新田みゆき 8:30~9:45	901-905 大谷基康 8:30~9:45	1004-1007 加藤鎌司 9:15~10:15
106-110 山田哲也 9:45~11:00	206-210 奥本裕 9:45~11:00	306-310 福岡浩之 9:45~11:00	406-410 江頭宏昌 9:45~11:00	506-510 北浦健生 9:45~11:00	606-610 笹沼恒男 9:45~11:00	706-710 矢野昌裕 9:45~11:00	806-810 武田真 9:45~11:00	906-910 福岡修一 9:45~11:00	1008-1010 石川隆二 10:15~11:00
111-115 貴島佑治 13:00~14:15	211-215 米見英子 13:00~14:15	311-315 才宏偉 13:00~14:15	411-415 佐々英徳 13:00~14:15	511-514 平林秀介 13:00~14:00	611-615 中山博貴 13:00~14:15	711-715 中崎鉄也 13:00~14:15	811-815 秋本正博 13:00~14:15	911-915 寺田理枝 13:00~14:15	1011-1014 田部井豊 13:00~14:00
116-120 村井耕二 14:15~15:30	216-220 中園幹夫 14:15~15:30	316-320 西尾剛 14:15~15:30	416-419 掛田克行 14:15~15:15	515-518 鳥山欽也 14:00~15:00	616-620 勝田真澄 14:15~15:30	716-720 津呂正人 14:15~15:30	816-820 小松田隆夫 14:15~15:30	916-919 中村郁郎 14:15~15:15	1015-1018 植松千代美 14:00~15:00
121-124 門脇光一 15:30~16:30	221-224 市川裕章 15:30~16:30	321-324 佐藤和広 15:30~16:30	420-422 入来規雄 15:15~16:00	519-522 土岐精一 15:00~16:00	621-624 荒木悦子 15:30~16:30	721-725 安東郁男 15:30~16:45	821-824 山根京子 15:30~16:30	920-923 長岐清孝 15:15~16:15	1019-1022 石本政男 15:00~16:00
125-128 寺地徹 16:30~17:30	225-229 堤伸浩 16:30~17:45	325-329 布目司 16:30~17:45	426-428 松田靖 16:45~17:30	523-525 矢野健太郎 16:00~16:45	625-628 梅本貴之 16:30~17:30	726-728 和田卓也 16:45~17:30	825-828 森直樹 16:30~17:30	924-928 郷内武 16:15~17:30	1023-1025 大島正弘 16:00~16:45

21日午前

21日午後

ポスター発表プログラム

<1. 品種育成>

- P101 ○辻耕治1・大野友道1,2,3・田料理1・久志野圭子1,3・村上啓寿1 (1. 阪大薬学, 2. (株)三栄源エフ・エフ・アイ有用植物研, 3. 三栄源エフ・エフ・アイ(株)研究所)
アカダイコン交配個体のアントシアニン含量
- P102 ○若生忠幸・小島昭夫・塚崎光・山下謙一郎(農研機構野菜茶研)
短葉性ネギ合成第1代の特徴

<2. 育種情報>

- P201 ○飯村敬二・安藤象太郎・井村治・黄川田智洋・藤森雅博・間野吉郎・佐藤広子・清多佳子・高溝正(畜草研)
除草剤グリホサート耐性ダイズの栽培が周辺環境の生物相に及ぼす影響
- P202 ○高橋光子1・野澤樹1,2・浅井辰夫1・中井弘和1(1. 静大農2. 岐大連農)
中山間地における復元した耕作放棄水田でのヒエとイネの比較栽培
- P203 ○鄭澤宇1・岩田洋佳2・二宮正士2・平田豊3・滝澤由美4・田村義保4(1. 総研大光科学, 2. 中央農研, 3. 東京農工大農学, 4. 統計数理研究所)
P形フーリエ記述子に基づくハナハス(*Nelumbo nucifera* Gaertn.)花卉の部分形状の定量的評価
- P204 ○吉岡洋輔1・岩田洋佳2・長谷暢一3・松浦誠司3・大澤良1・二宮正士2(1. 筑波大生命環境科学, 2. 中央農研, 3. (株)トーホク)
画像情報に基づくサンシキミレにおける花器形質の遺伝解析
- P205 ○岡 正明(宮城教育大)
三次元デンシタイザ計測法を用いたイネ3品種の群落受光効率の比較

<3. 遺伝資源・系統分類>

- P301 ○加賀秋人1・黒田洋輔1・友岡憲彦1・Anna Apa2・松岡伸之3・矢野博3・Duncan A. Vaughan1(1. 生物研, 2. パプアニューギニア農研, 3. 近中四農研)
日本国内におけるツルマメとダイズの自然交雑集団の同定
- P302 ○中勇篤1・西岡恵美1・松岡由浩2・河原太八3・中村千春1・宅見薫雄1(1. 神戸大農, 2. 福井県大生物資源, 3. 京大農研)
種の諸形質に関するタルホコムギの多様性とその合成バンコムギへの伝達
- P303 森広晴彦1・松岡由浩2・中村千春1・宅見薫雄1(1. 神戸大農, 2. 福井県大生物資源)
栄養成長期の諸形質に関するタルホコムギの多様性とその合成バンコムギへの伝達
- P304 叢花1,3・章艶風1・〇高田兼則2・池田達哉2・谷中美貴子2・石川直幸2・長峰司2・藤巻宏3(1. 新疆農業科学院, 2. 近中四農研, 3. 東京農大)
新疆ウイグル自治区原産のコムギ地方品種における高分子量グルテニン・サブユニットの変異
- P305 ○平野智也1・神戸敏成2・石川恵子3・三位正洋1 (1. 千葉大院自然科学, 2. 富山県中央植物園, 3. 日本園芸生産研)
カクチョウラン (*Phaius tankervilleae*) 完熟種子のガラス化法による超低温保存
- P306 ○畔上千佳1・佐藤隆徳1,2・張淨環1・蘇曼鏗1・林佳蓓1・呉天河1・Liwaiway M. Engle1.(1. アジア蔬菜研究センター, 2. 国際農研・生物資源)
RAPD-PCR を使ったPigeon pea (*Cajanus cajan*) の遺伝的多様性解析について
- P307 ○荒木悦子・池田達哉・藤田由美子・矢野博(近中四農研)
イネ (*Oryza sativa* L.) 種子中のピオチン含量変異の探索
- P308 ○西川智太郎(農業生物資源研究所)
イネ及びその近縁種間におけるグルテリン遺伝子配列の多様性
- P309 ○友岡憲彦1・W. Sheehalak2・S. Thadavong3・B. Chaiteng1・加賀秋人1・伊勢村武久1・黒田洋輔1・D.A. Vaughan1
(1. 生物研, 2. タイ国スラナリ大学, 3. ラオス農業研究センター)
ツルアズキ (*Vigna umbellata* (Thunb.) Ohwi & Ohashi) の遺伝的多様性と地理的変異
- P310 ○花森功仁子1,2・大角信介1,3・田中淳一4・佐藤洋一郎5・向井譲1
(1. 岐阜大学連合農学研究所, 2. 榊ゼネテック, 3. 榊ベックス, 4. 野菜・茶業研究所, 5. 総合地球環境学研究所)
チャ栽培種における遺伝資源の多様性
- P311 萩原悠太1・木庭卓人1・上田善弘2(1. 千葉大院自然科学, 2. 岐阜県立国際園芸アカデミー)
バラ属野生種におけるレトロトランスポソンの検出とその物理的位置
- P312 ○南 晴文1・芝野真喜雄2・馬場きみ江2(1. 東京島しょ農水センター大島, 2. 大阪薬大)
伊豆諸島アミタバのカルコン類の含量変異
- P313 ○川崎顕子1・信田清夏1・牛木 純2・石井俊雄3・石川隆二1(1. 弘大農生, 2. 中央農研センター, 3. 岡山県農総センター)
連鎖不平衡マッピングの応用 V. 第12染色体における雑草化関連因子の探索
- P314 ○保谷明江1・安藤敏夫2・木庭卓人1,2(1. 千葉大院自然科学, 2. 千葉大園芸)
ペチュニアにおけるTy1/copia様レトロトランスポソンの検出と染色体上の分布
- P315 ○石川隆二1・今井克則1, 川崎顕子1・本間照久1・信田清夏1, 千田峰生2・赤田辰治2・原田竹雄1・新開 稔1 (1. 弘大農生, 2. 弘大遺伝子実験施設)
イネ連鎖不平衡マッピングの応用IV. アイソザイム遺伝子座周辺における品種群特異的領域群の特定
- P316 ○牛木 純1・赤坂舞子1・手塚光明2・酒井長雄3・斎藤 稔4・石川隆二5
(1. 中央農研センター, 2. 長野県農事試験場, 3. 長野県庁, 4. 長野県南信農業試験場, 5. 弘大農生)
長野県に発生する雑草性赤米の生理形態的特徴と分布の変遷
- P317 ○井上栄一1・齋林1・阮樹安2・原弘道1(1. 茨城大農, 2. 中国遼寧省経済林研)
SSRマーカーによるチュウゴクグリの品種識別
- P318 ○Duy B.V., Y. Hirata and K. Ohata (Gra. Sch. Agr. IEAS, TUAT)
Soybean protein variations in large seed Tanbakuro lines.

<4. 変異創成>

- P401 ○山田真也1・横田裕一郎2・田中淳2・小林泰彦2・舟山知夫2・坂下哲哉2・和田成一2・井上雅好1(1. 京都府大院農学、2. 原研高崎) 植物単細胞へのイオンマイクロビーム照射システムの開発
- P402 ○大石竜也1・石川優一2・遠藤真咲3・刑部敬史4・阿部清美4.5・市川裕章4・安西弘行1・土岐精一4 (1. 茨城大・遺伝子、2. 東北大院・生命科学、3. 筑波大院・生命環境科学、4. 生物研、5. Universite Blaise Pascal) 高等植物のRad1、Rad2欠損変異体における染色体内相同組換え頻度と染色体間相同組換え頻度の解析
- P403 ○高橋宙之1・岡崎和之1・田口和憲1・川勝正夫2・中司啓二1 (1. 北海道農研センター、2. 生物資源研) テンサイ多胚花粉親系統へのγ線照射が発芽率および糖収量性におよぼす影響
- P404 ○遠藤真咲1・刑部敬史2・市川裕章2・土岐精一2 (1. 筑波大院生命環境、2. 生物研) 相同組み換えによるイネALS遺伝子への点突然変異の導入
- P405 ○佐藤義典1・手塚孝弘1・久留主泰郎1・丸橋亘2(1. 茨城大農、2. 明治大農) タバコ属種間雑種*Nicotiana glauca* × *N. tabacum*でみられる致死において検出されたプログラム細胞死
- P406 ○林麻衣1・市川幸奈2・加藤淳太郎2・三位正洋1(1. 千葉大自然科学、2. 愛知教育大生物) *Primula denticulata*(*Denticulata*節)と*P. modesta* var. *matsumurae*(レブコザクラ; *Aleuritia*節)の正逆節間交配において形成された雑種の倍数的変異
- P407 ○池田真由子1・加藤淳太郎2・林麻衣3・三位正洋3(1. 名大院生命農学、2. 愛知教育大生物、3. 千葉大自然科学) *Primula sieboldii*(サクラソウ)と*P. jesoana*(オオサクラソウ)の種間交配における雌親品種が雑種の倍数的性に及ぼす影響
- P408 ○郷内武1・眞部徹1・井上栄一2・林幹夫1・山本俊哉3・林建樹3・佐久間文雄4・震正一1 (1. 茨城農総生工研、2. 茨城大農、3. 農研機構果樹研、4. 茨城農総セ園研) ニホンナンテンとリンゴの属間雑種 -フローサイトメトリーとSSRマーカーによる雑種性の検定-
- P409 ○井上公一1・加藤智美2・信國麻美2・國武久登2・藪谷勤2 (1. 鹿児島連大、2. 宮崎大農) プロトプラスト培養由来の四倍体チャシヨウブとカキツバタにおける種間雑種の作出
- P410 ○泉川康博1・竹井聡1・中村郁郎1・三位正洋2 (1. 千葉大自然科学、2. 千葉大園芸) リュウキュウベンケイ (*Kalanchoe spathulata*) とコチヨウノマイ (*K. laxiflora*) との節間雑種作出
- P411 石垣元氣・松本潤・川村修・明石良(宮崎大農) ローズグラス(*Chloris gayana kunth*)多芽体カルス由来再分化個体における飼料特性
- P412 ○Khan, R.S, I. Nakamura, M. Mii (Grad. Sch. Sci. Technol., Chiba U.) Production of marker-free transgenic *Nierembergia caerulea* using MAT vector system.
- P413 徐美淑1・陳蘭庄2・高原学1・李孝淵3・足立泰二4 (1. 畜草研、2. 宮崎大、3. 韓国済州大、4. 大阪大VBL) アボキンス種ギニアグラスから単離されたASG-1遺伝子のイネ形質転換系による機能解析
- P414 ○柴田翔1・安西弘行1・井上栄一2(1. 茨城大遺伝子、2. 茨城大農) 倍数的異なるトランスジェニックイネにおけるトランスジーン発現解析
- P415 ○若佐雄也・高岩文雄(生物研) イネ種子中に外来タンパク質を高蓄積させるバイナリーベクター簡易構築システムの検討
- P416 ○蒲池伸一郎1・田中宥司2・安藤杉尋1・小長谷賢一1・萩尾高志1・小川泰一1・田部井豊1(1. 生物研、2. 中央農研・北陸) 節および節間特異的発現プロモーターに制御されたジベレリン2酸化酵素遺伝子を導入した矮性形質転換イネの作出と特性評価
- P417 ○川頭洋一1・富士山龍伊1・杉山慶太2 (1. 野菜茶研、2. 北海道農研) レタスベジックベインウイルスの外被タンパク質遺伝子を導入したレタスと抵抗性品種とのビッグベイン病抵抗性比較
- P418 ○野中聡子1・遊橋健一1・庄司隆範1・菅原雅之2・南澤潤2・江面浩1(1. 筑波大院生命環境、2. 東北大院生命) エチレンによる遺伝子導入阻害の機構解明
- P419 山川一富1・権藤崇裕2・霍田真一1・明石良1(1. 宮崎大農、2. 北農研) 形質転換バヒアグラスにおける導入遺伝子の解析

<5. 変異解析>

- P501 ○堀端章1・松井和幸1・井上悦子2・吉廣卓哉3・川路英哉4・中川優3・奥本裕5・中崎鉄也5・谷坂隆俊5 (1. 近大生物理工、2. 和歌山大院システム工学、3. 和歌山大システム工学、4. NTTソフトウェア(株)、5. 京大院農) 誘発突然変異遺伝子と共分離するmPingのトランスポゾンディスプレイによる同定
- P502 シャクタカシ・福田真人・○島田浩章(東京理科大・生物工) イネのflo2遺伝子の機能解析とマッピング
- P503 ○堀泰子・西尾剛 (東北大院農学) イネのモチ品種におけるwx遺伝子の変異解析
- P504 ○池上勝1・吉田晋弥1・三好昭宏1・中村千春2・上島脩志2 (1. 兵庫農水技術総合、2. 神戸大農) 五百万石とコンヒカリの交配後代における心白発現と粒大の遺伝解析
- P505 ○田口和憲・大瀧直樹・中司啓二(北海道農研セ) テンサイの黒根病抵抗性に関する片側ダイアレル分析
- P506 加藤恒雄(近畿大生物理工) 数種のイネ雑種集団における穎花数関連形質の遺伝
- P507 ○伊勢村武久・加賀秋人・友岡憲彦・Duncan A. Vaughan (生物研) 国内産アズキ栽培種と野生種との雑種集団を用いたアズキ栽培増進関連形質のQTL解析

- P508 ○小倉有紀¹・磯谷昭雄²・平尾健二²・常松浩史^{1,3}・土井一行⁴(1. 国際農研, 2. 福岡教育大, 3. WARDA, 4. 九大院農)
Oryza glaberrima 染色体置換系統群を利用したイネの深根性のQTL解析
- P509 ○平尾健二¹・小倉有紀²・錦織充宏¹・常松浩史^{2,3}・土井一行⁴(1. 福岡教育大, 2. 国際農研, 3. WARDA, 4. 九大院農)
Oryza glaberrima 染色体置換系統群を利用したイネのTR率(地上部-地下部相対比率)のQTL解析
- P510 ○林武司・粟田崇(生物研)
順序のないカテゴリーで記述される形質に対するインターバルマッピング法の開発
- P511 ○五十鈴川寛司¹・池田和生²・西村幸一¹(1. 山形農総研セ農生産技試, 2. (財)山形県農業振興機構)
セイヨウナシの大果枝変わり系統の形態的特徴およびその倍数性

<6. 抵抗性・品質成分>

- P601 ○西内俊策¹・解麗娜¹・柳蔘奎²・高野哲夫¹(1. 東大アジアセンター, 2. 中国東北林業大学)
アルカリ塩耐性野生植物(*Chloris virgata* Swartz)の耐塩性試験と遺伝子発現の解析
- P602 ○長谷川博・藤山佳代・奥ゆかり・渡辺準子・土田雅士・入江俊一(滋賀県大環境科学)
イネのセシウム抵抗性突然変異体における翻訳開始因子遺伝子eIF5Aの発現に及ぼすセシウムの効果
- P603 ○宮野義之¹・2・程島祐貴¹・2・後藤文之¹・庄子和博¹・島田浩章²・吉原利一¹(1. 電中研・環境科学・2. 東京理科大・生物工)
ヘビノゴザのカドミウム耐性機構における考察-カドミウム局在化とカドミウムストレス下における2価金属吸収量変化-
- P604 ○清水顕史・加藤謙之・小松亜希子・穴戸理恵子・野村和成・池橋宏(日大生物資源)
イネのリン酸利用効率に関するQTL解析
- P605 Behnam, B.1. A. Kikuchi¹, F. Celebi-Toprak^{1,2}, M. Kasuga³, K. Yamaguchi-Shinozaki³ and K. N. Watanabe¹
(1. Grad. Sch. Life Env. Sci., U Tsukuba, 2. Pamukkale U, Turkey, 3. JIRCAS, Tsukuba)
Tolerances to two different abiotic stresses (salinity and freezing) induced in transgenic potatoes with rd29A promoter and DREB1A
- P606 ○黒木慎¹・齋藤浩二¹・安東郁男²・清水博之¹・入来規雄¹・佐藤裕¹(1. 北海道農研, 2. 作物研)
北海PL9の穂ばらみ耐冷性QTL(qCTB-8)のマッピング
- P607 ○程島祐貴^{1,2}・吉原利一¹・宮野義之^{1,2}・庄子和博¹・島田浩章²・後藤文之¹(1. 電中研・環境科学, 2. 東京理科大学・基礎工)
異なる鉄吸収機構をもつ植物におけるCd暴露に対する鉄応答遺伝子の発現比較
- P608 ○高橋竜一・高野哲夫(東大アジアセンター)
ヨシHKTカリウムトランスポーター遺伝子の単離と機能解析
- P609 ○席田淳史¹・吉村康弘²・小池倫也¹(1. 北海道グリーンバイオ研 2. 道立北見農試)
コムギ雪腐病抵抗性に関する遺伝子座の同定
- P610 ○関昌子¹・乙部千雅子²・松中仁¹・藤田雅也¹(1. 農研機構作物研, 2. 農研機構本部)
小麦の粉色とアミロース含量、金属元素の関係
- P611 ○乙部(桐洲)千雅子・藤田雅也・松中 仁・関 昌子(農業・生物系特定産業技術研究機構)
もち性小麦準同質遺伝子系統における製粉歩留とアラビノキシラン含量の関係
- P612 ○木原 誠¹・岡田吉弘¹・金子隆史¹・斉藤 渉¹・伊藤一敏¹(1. サッポロビールバイオリソース研, 2. 現九州沖縄農研)
大麦プロテアーゼに関する育種的研究6. 関東二条25号と南系B4641のSSD集団における麦芽中プロテアーゼ活性のQTL解析
- P613 ○谷中美貴子¹・高田兼則¹・田中裕之²・石川直幸¹・辻本壽²(1. 近中四農研, 2. 鳥取大農)
準同質遺伝子系統を用いたコムギ高分子量グルテニン遺伝子Glu-D1dの製麺適性への効果の解析
- P614 ○松中仁¹・中村和弘²・西尾善太³・関昌子¹・乙部千雅子⁴・藤田雅也¹(1. 作物研, 2. 長野農事試, 3. 北農研, 4. 農研機構本部)
国内産硬質小麦の高速ファリノグラフとミキソグラフ特性
- P615 ○戸田恭子¹・中村善行¹・高橋浩司¹・小野伴忠²・喜多村啓介³(1. 作物研究所, 2. 岩大農学部, 3. 北大院農学)
大豆タンパク質のサブユニット組成と豆乳の凝固反応性との関係
- P616 ○荻野暁子・岡本毅・吉田克志・田中淳一・谷口郁也(野茶研茶業研究部育種素材開発チーム)
茶遺伝資源から見いだされた、特徴あるポリフェノールプロファイルを持つ品種・系統

<7. 発育生理>

- P701 ○ケネディ(赤坂)庸子¹・2・高畑義人²(1. コンボン研究所, 2. 岩手大農)
西洋ナタネ(*Brassica napus* L.)において高頻度に観察された多胚現象
- P702 神崎比呂¹・木藤新一郎²・加藤清明¹(1. 帯広畜産大, 2. 岩手大農)
イネ科作物におけるJIP23遺伝子の多様性
- P703 ○小林大佑¹・荻原保成²・持田恵一³・野田和彦⁴・川上直人¹(1. 明大院農, 2. 京都府大院農, 3. 長浜バイオ大, 4. 岡山大資生研)
コムギ種子の休眠打破に関わる遺伝子発現の解析
- P704 ○澁川直希¹・高岸愛¹・田平千香子¹・宅見薫雄²・村井耕二¹(1. 福井県大生物資源, 2. 神戸大農)
分裂組織形成パターンからみたコムギの穂形態形成機構の解析
- P705 瀬尾昌子¹・三木雅史¹・久保山勉(茨城大農)
ペチュニアのアントシアニン合成制御因子An1の突然変異が原因で生ずる花粉側分離比異常
- P706 ○藤井壮太・鳥山欽哉(東北大院農)
CW型細胞質雄性不稔イネに対する稔性回復遺伝子Rfcwのファインマッピング
- P707 ○北崎一義・野元悠太・久保友彦・三上哲夫(北大院農学)
テンサイS型細胞質由来のpreSatp6形質転換体の作出

- P708 ○濱口祐子・松平洋明・萩原栄揮・久保友彦・三上哲夫(北大院農学)
テンサイRF1遺伝子座からみつかるORFの特徴付け
- P709 ○刑部敬史1・阿部清美1・中山繁樹1・遠藤真咲2・田切明美1・市川裕章1・土岐精一1(1. 生物研、2. 筑波大院生命環境)
高等植物におけるRAD51パラログ遺伝子の減数分裂における役割
- P710 ○佐藤豊・西尾剛(東北大院農)
*Brassica oleracea*と*Brassica rapa*間において類似したclass II Sハプロタイプの認識特異性の解析
- P711 ○藤本龍・杉村哲・西尾剛(東北大院農学)
SLGからSRKへのgene conversionによって生じた自家和合性の解析
- P712 ○岡本俊介1・小田島雅2・西尾剛1(1. 東北大院農、2. 岩手県農研セ)
自家和合性*Brassica napus*品種WestarにおけるSRK、SP11の解析
- P713 ○相井城太郎1・長野美緒2・Clayton Campbell3・足立泰二4・川崎信二1
(1. 生物研、2. 高知大学、3. カナダ・ケイト研究所、4. 阪大ベンチャービジネスラボラトリー)
ソバ属植物における自家不和合性関連候補遺伝子の特性解析
- P714 ○Ishikawa, R. I., Y. Takahashi1, T. Ishizuka2, S. Yokoi1, N. Inagaki3, T. Shinomura2, M. Takano3 and K. Shimamoto1
(1. Plant Mol. Genet. Lab., NAIST, 2. Hitachi Central Research Lab. 3. NIAS)
Molecular basis of night break effect on flowering in rice
- P715 ○エ藤久幸1・千田峰生2・石川隆二1・赤田辰治2・新関 稔1・原田竹雄1(1. 弘前大農学生命、2. 弘前大遺伝子実験施設)
リンゴ果実完熟型ACS3サブファミリー遺伝子の構造および発現解析
- P716 ○安野奈緒子1・内堀篤1・足利和紀1・加藤清明1・高牟禮逸朗2(1. 帯広畜産大、2. 北大院農)
イネの少分げつ $rca1$ 変異体の形質発現と分げつ遺伝子の発現解析

<8. 増殖>

- P801 ○岩本嗣1・尾島由穂2・西岡求2・紀ノ岡正博2・田谷正仁2・金谷忠3・浅田雅直3(1. 大阪食とみどり技セ、2. 阪大院・基礎工、3. 森下仁丹)
シームレスカプセル化技術を利用したバイオカプセル種子の開発 1. アスパラガス不定胚の効率的誘導と同調化技術の開発
- P802 ○金谷忠1・中辻雅章1・松浦洋一1・浅田雅直1・岩本嗣2・田谷正仁3(1. 森下仁丹、2. 大阪食とみどり技セ、3. 阪大院・基礎工)
シームレスカプセル化技術を利用したバイオカプセル種子の開発 2. 不定胚懸濁液の送液とカプセル化技術の開発

<9. ゲノム解析>

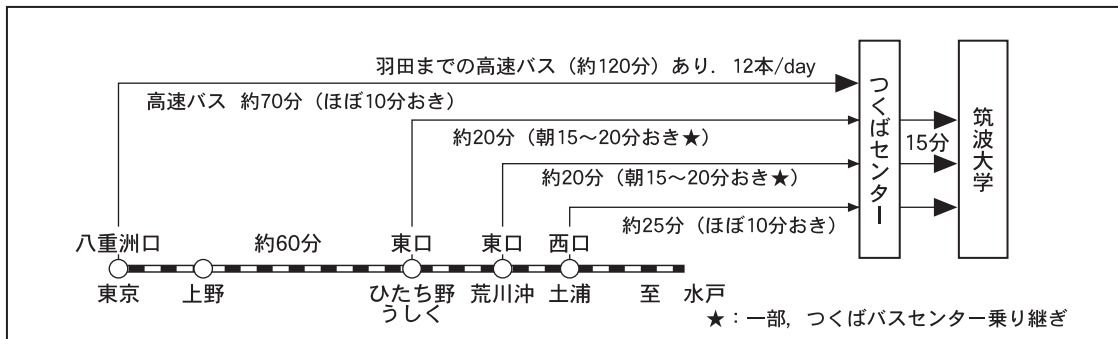
- P901 ○清多佳子1・平田球子2・高溝正1・佐藤広子1・間野吉郎1・藤森雅博1,3(1. 畜草研、2. 種子協会、3. 山梨酪試)
イタリアンライグラス品種Axisからの冠さび病抵抗性遺伝子の同定
- P902 ○加藤章夫 1・Juan M. Vega 2・James A. Birchler 2(1. 京都府大院農学、2. ミズーリー大)
トウモロコシにおける高感度FISHとマルチカラー核型分析
- P903 ○磯田圭哉1・渡辺敦史1・倉本哲嗣2・近藤禎二1(1. 林育セ、2. 林育セ九州)
マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツの連鎖地図作製
- P904 ○今井克則1・千田峰生2・赤田辰治2・原田竹雄1・新関 稔1・石川隆二1(1. 弘大農学生命、2. 弘大遺伝子実験施設)
易変異系統である赤毛から誘発したUr1 (Undulated rachis 1) 遺伝子の分子地図へのマッピング
- P905 ○林敬子1・吉田均1・芦川育夫2(1. 中央農研、2. 作物研)
イネいもち病真性抵抗性遺伝子選抜用SNPマーカーの開発
- P906 ○白澤健太・汐海沙知子・岸谷幸枝・西尾剛(東北大院農)
ドットプロット分析による日本型イネ品種の一塩基多型の解析
- P907 ○品田智隆・岸谷幸枝・西尾剛(東北大院農学)
SNPsマーカーを利用した*Blossica oleracea*のマップ作成
- P908 ○柳沢貴司・池田達哉・高山敏之(近畿中国四国農業研究センター)
大麦加工品の品種判別に適応可能なCAPSマーカー
- P909 ○藤田由美子・池田達哉・荒木悦子・矢野博(近中四農研)
小麦加工食品の原料品種判別法の開発 I 加工食品からのDNA抽出法およびDNA断片化程度の評価

<10. 遺伝子・タンパク質>

- P1001 ○大西成人・氷見英子・野田和彦(岡山大学資生研)
コムギにおけるAFP (ABI five binding protein) 様遺伝子の単離と発現解析
- P1002 ○濱田賢一・氷見英子・野田和彦(岡山大学資生研)
コムギのAtMYC2様遺伝子の単離
- P1003 ○米原和枝・富田因則・山下将和・大道佳晃(鳥取大農)
パンコムギの3種類のナトリウム/ブロンアンチポーター遺伝子の構造
- P1004 ○Tahara, M. I., M. Suemura2, H. Yamashita1, E. Myoraku3, T. Arioka4 and S. Kokumai1
(1. Grad. Sch. Natural Sci., Okayama U., 2. Okayama Coop., 3. Res. Inst. Bioresources, Okayama U., 4. Fac. Agric. Okayama, U.)
Discovery of another active retrotransposon in sweetpotato genome.
- P1005 ○陳志奇・平田豊・川合伸也(東京農工大学大学院農学教育部)
香り米特異的に発現しているcDNAのサブクローン
- P1006 ○田口文緒1・加藤浩2・小野寺治子1・田切明美1・原奈穂1・土岐精一1(1. 生物研、2. 作物研)
イネ密穂型変異体Dense panicle 1の表現型解析と原因遺伝子単離

- P1007 ○最相大輔・張文勝・石井誠・佐藤和広・武田和義 (岡大資生研)
オオムギ遺伝資源からのβ-アミラーゼ新規アレルの探索
- P1008 ○Tahara, Y.1, S. Yamanaka1,2, M. Nakatani3, T. Kumagai3, K. Komaki3, A. Kikuchi1 and K. N. Watanabe1
(1. Grad. Sch. Life Env. Sci., U Tsukuba, 2. NIAS, Tsukuba, 3. NICS, Tsukuba)
Sequence diversity of β-amylase alleles and possibility of selecting β-amylase free genotypes in sweetpotatoes
- P1009 ○竹内 啓1・野口達郎1・富田因則1・板津直樹1・E. Nevo2(1. 鳥取大農, 2. Inst. Evolution, U. Haifa)
イスラエルの野生四倍性コムギにおけるトランスポゾン様遺伝子Revolverの量的変異
- P1010 ○山本将之・高岩文雄 (生物研)
2種のイネ胚乳特異的転写活性化因子の発現抑制により種子貯蔵タンパク質の蓄積量は減少する
- P1011 黒岩信孝、○伊藤卓朗、福田達哉、菅野明、亀谷寿昭(東北大院生命科学)
イネにおけるトリプトファン合成酵素αサブユニット遺伝子の単離と発現解析
- P1012 ○及川愛・木藤新一郎(岩手大院農学)
様々な生育ステージで糖依存的に発現誘導されるオオムギ特異的23kDaタンパク質
- P1013 ○東野 悟1,2・原田 久也2・木庭 卓人2・高岩 文雄1(1. 生物研, 2. 千葉大院自然科学)
RPBF遺伝子の3' 非翻訳領域は組織特異的発現に関与する
- P1014 ○古堅宗太郎1,2・三笠容子1,2・庄子和博1・篠崎開2・吉原利一1・後藤文之1(1. 電力中央研究所・環境科学, 2. 東京電機大・物質工)
大豆およびアラビドシスにおけるフェリチン遺伝子族の構造と発現の比較
- P1015 ○大岡久子1,2・佐藤浩二2・田崎公久2,3・秋山(山田)仁美2・Lee, Jung-Sook 4・高原美規5・山元皓二5・鈴木宏史6,山本誠6,菊池尚志2
(1. 久留米高専, 2. 生物研, 3. 栃木農試, 4. 韓国農村振興庁, 5. 長岡技科大・工学, 6. 日立ソフト)
22kラスオリゴマイクロアレイを用いたカルス再分化に関与するNACファミリーの発現解析
- P1016 ○佐藤浩二1・飯泉茂美1・木村節子1・山本誠2・鈴木宏史2・菊池尚志1(1. 生物研, 2. 日立ソフト)
イネ全遺伝子発現解析のためのイネオリゴマイクロアレーの更新
- P1017 小林芳江1・○松倉千昭1・伊永根1・伴雄介1・青木孝一2・柴田大輔3・西村繁夫1 (1. 筑波大院生命環境, 2. 千葉農総研セ, 3. かずさDNA研)
矮性トマト品種「マイクロトム」の塩類ストレス処理果実における網羅的遺伝子発現解析
- P1018 ○藤谷典志1・寺田理枝2・前川雅彦1・岡田吉弘3,4・伊藤一敏3・飯田 滋2・武田和義1・今野晴義1・杉本 学1
(1. 岡大資生研, 2. 基生研, 3. サツポロビール(株)/バイオリソース開発研, 4. 現:九州沖縄農研)
塩ストレス抵抗性オオムギに関する研究 3. 恒常的に高発現するACC酸化酵素遺伝子の機能
- P1019 ○杉本 学1・杉本 恵2・佐藤和広1・武田和義1(1. 岡大資生研, 2. CREST)
塩抵抗性オオムギ根で特異的に発現しているタンパク質のプロテオーム解析

筑波大学への概略マップ



筑波大学へのマップ2



学会会場は上記 ■ で示した第二学群エリアで開催されます。

JR土浦、荒川沖、ひたち野うしくの各駅からバスで35~40分です。

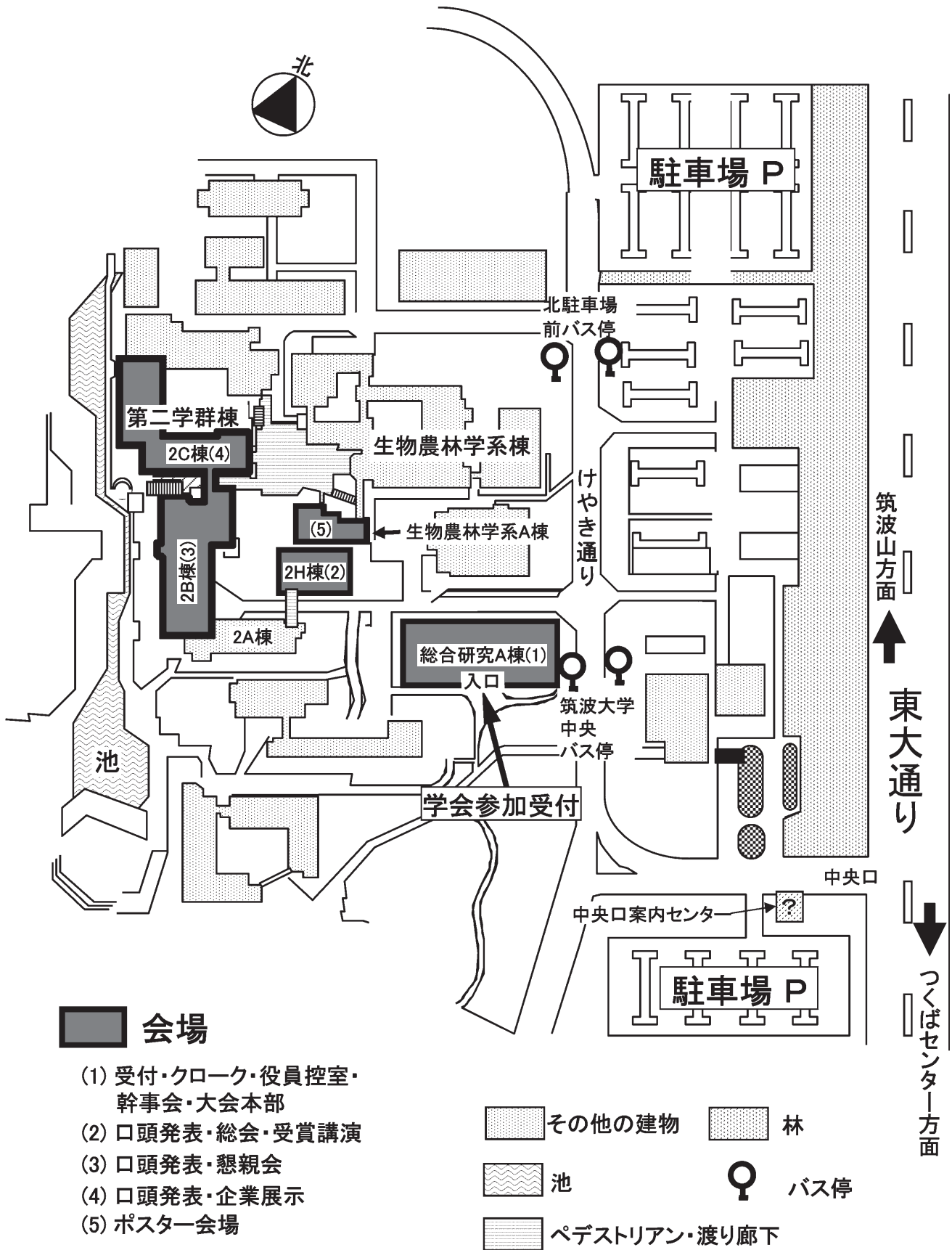
東京駅八重洲口からつくばバスセンターへは高速バスで約70分です。これも便利です。

つくばバスセンターから大学まではバスで約10分です。

会場へはバスを第三学群棟前か筑波大学中央(終点)でお降りください。

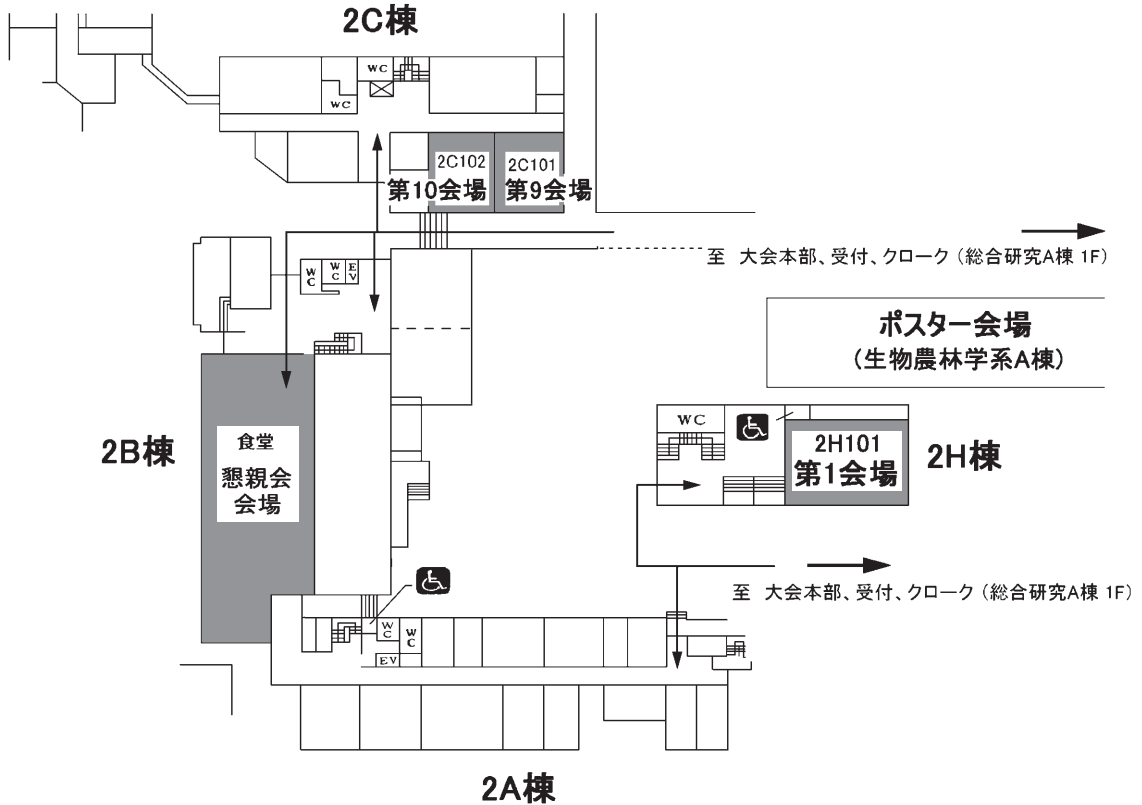
つくば⇄羽田間の高速バスもあります。(約120分、12本/day)

日本育種学会会場周辺地図

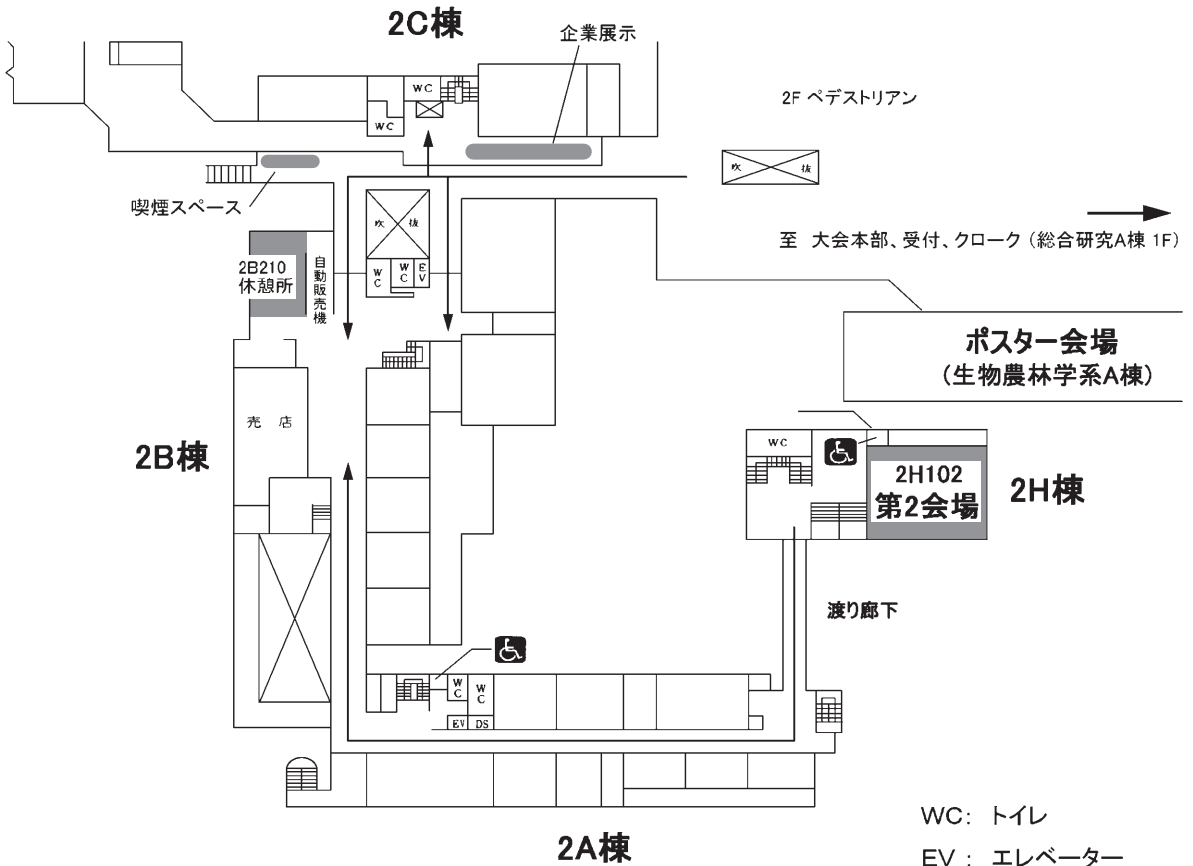


会場見取り図 1・2階

1F

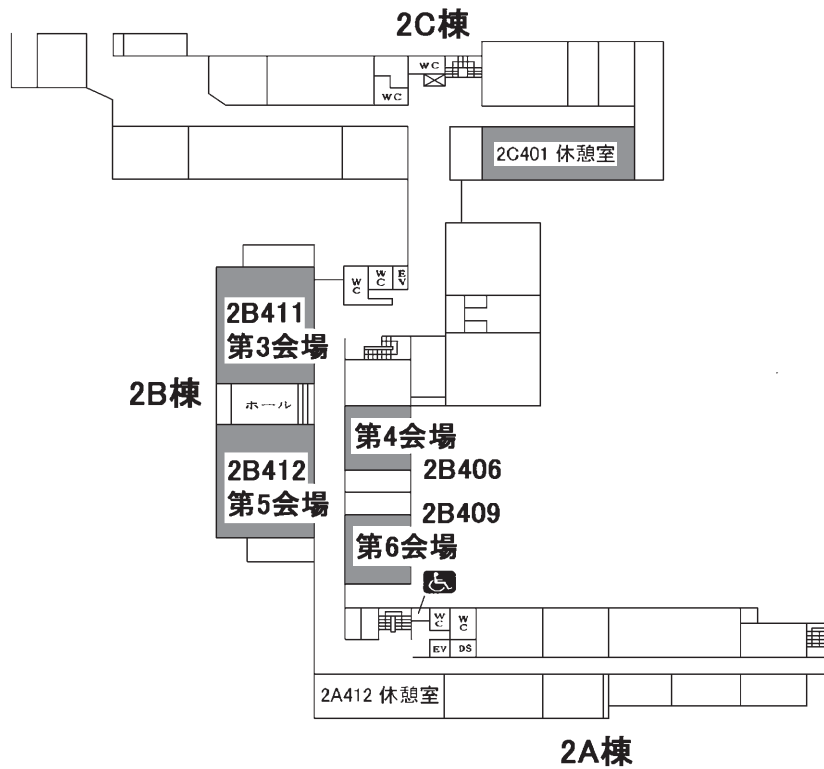


2F

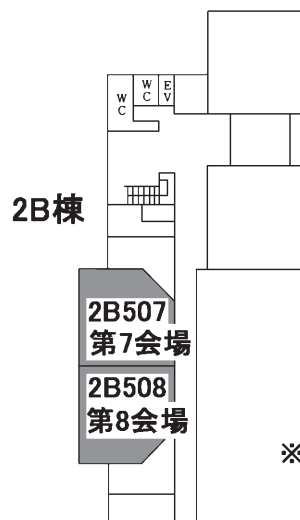


会場見取り図 4・5階

4F



5F



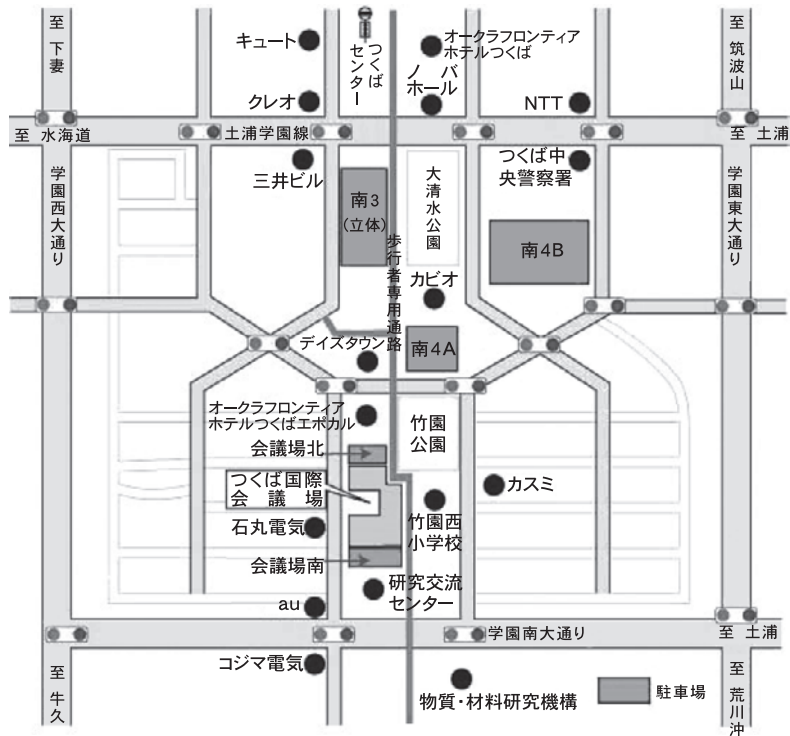
※ 建物内は休憩室を含め全面禁煙です。所定の場所以外での喫煙はご遠慮下さい。

受付・大会事務局等

受付	総合研究A棟	エントランスホール
クローク	総合研究A棟	110
役員控室・幹事会	総合研究A棟	111
大会事務局(本部)	総合研究A棟	107

市民公開シンポジウム会場（エポカルつくば）への行き方

[周辺地図]



[交通]

・長距離バス

東京駅八重洲南口から 料金 1,250 円

2 番バスのりば—高速バスつくば号 65 分—つくばセンター—徒歩 10 分(780m)—つくば国際会議場

羽田空港 1 階到着ロビーから 料金 1,800 円

12 番バスのりば—高速バス 80-120 分—つくばセンター—徒歩 10 分(780m)—つくば国際会議場

成田空港第 1 ターミナルから 料金 1,800 円 予約制

1 番バスのりば—バス 100 分—つくばセンター—徒歩 10 分(780m)—つくば国際会議場

水戸駅北口から 料金 1,000 円

6 番バスのりば —T・Mライナー100 分—つくばセンター—徒歩 10 分(780m)—つくば国際会議場

・鉄道

上野駅から特急利用の場合 料金 2,060 円

16・17 番線 —スーパーひたち・フレッシュひたち 45 分 —土浦駅—関東鉄道バス 30 分 —つくばセンター—徒歩 10 分(780m)
—つくば国際会議場

上野駅から各駅利用の場合 料金 950 円

9-12 番線—各駅・快速 60 分—ひたちの牛久駅—関東鉄道バス 30 分—つくばセンター—徒歩 10 分(780m)—つくば国際会議場

水戸駅から各駅利用の場合 料金 950 円

9-12 番線—各駅 65 分—土浦駅—関東鉄道バス 30 分—つくばセンター—徒歩 10 分(780m)—つくば国際会議場

・路線バス

土浦駅西口から 料金 510 円

2 番バスのりば— 関東鉄道(つくばセンター行き・筑波大中央行き) 30 分—つくばセンター — 徒歩 10 分(780m) — つくば国際会議場

ひたちの牛久駅東口から 料金 500 円

バスのりば— 関東鉄道・JR バス関東(つくばセンター行き)30 分 —つくばセンター —徒歩 10 分(780m) — つくば国際会議場

・常磐自動車道「桜・土浦インターチェンジ」から

IC を「つくば方面」へ — 1km(信号 2 つめ) — 大角豆(ささぎ)交差点右折 — 2.7km(信号 7 つめ) — 南大通東(左折レーンあり)左折 — 650m(信号 2 つめ) — 南大通右折 — 200m(右手) — つくば国際会議場